

## 令和6年度 教科年間計画

|    |      |     |    |                    |
|----|------|-----|----|--------------------|
| 教科 | 国語   | 2年  | 使用 | 【教科書】新編 論理国語（東京書籍） |
| 科目 | 論理国語 | 4単位 | 教材 | 【副教材】高校国語演習標準編     |

### 科目の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する・資質能力を育成する。

### 【評価の観点】

| 評価の観点<br>(重点項目には○)     |                                                                                          | 観点別学習状況の評価基準                                                                                |                                                                       |                    |
|------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|--------------------|
|                        |                                                                                          | A (十分満足できる)                                                                                 | B (おおむね満足できる)                                                         | C (努力を要する)         |
| ①知識・技能                 | 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。                                                              | 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。                                                                    | 国語の知識や技能を身に付けることができる。                                                 | 左側の求められる基準に達していない。 |
| ②思考力<br>判断力<br>表現力     | 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。      | 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。              | 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養うことができる。                               | 左側の求められる基準に達していない。 |
| ③主体的に<br>学習に取り<br>組む態度 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。 | 左側の求められる基準に達していない。 |

**授業計画**（評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度）

| 学習内容               | 時数 | 内容の評価の観点 |   |   | 学習のねらい及び評価規準                                                                                                                                                                                                                                                       | 評価方法                |
|--------------------|----|----------|---|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
|                    |    | 知        | 思 | 主 |                                                                                                                                                                                                                                                                    |                     |
| ・論理とは何か<br>1 つなげる力 | 1  | ○        | 読 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・推論の仕方について理解を深め使っている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。</li> </ul>                                                                                                               | 小テスト<br>振り返り<br>シート |
| 対話とは何か             | 3  | ○        | 読 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。</li> <li>・積極的に筆者が述べる「おしゃべり」と「対話」の違いを捉え、自分の生活におけるコミュニケーションの在り方をまとめ、話し合おうとしている。</li> </ul>          | 小テスト<br>振り返り<br>シート |
| 世界をつくり替えるために       | 4  | ○        | 読 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</li> <li>・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。</li> <li>・粘り強く筆者の考える学ぶことの根拠や意味について理解し、学習課題に沿って自分自身との関連について考えをまとめ、話し合おうとしている。</li> </ul>         | 小テスト<br>振り返り<br>シート |
| 最初のペンギン            | 3  | ○        | 読 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを捉え、要旨を把握している。</li> <li>・積極的にタイトルに象徴される筆者の考えを読み取り、これからの生き方について考えようとしている。</li> </ul>                                           | 小テスト<br>振り返り<br>シート |
| 豊かさと生物多様性          | 3  | ○        | 読 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学術的な学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。</li> <li>・粘り強く叙述に基づいて筆者の主張を的確に捉え、生物多様性の重要性と課題について、学習課題に沿ってまとめ、理解を深めようとしている。</li> </ul> | 小テスト<br>振り返り<br>シート |
| 「ふしぎ」ということ         | 4  | ○        | 読 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。</li> <li>・積極的に具体例を通して筆者が述べようとしている考えを読み取り、学習課題に沿って筆者の考える「物語」の捉え方を理解しようとしている。</li> </ul>            | 小テスト<br>振り返り<br>シート |

|                   |    |   |   |   |                                                                                                                                                                                                                                                                    |                     |
|-------------------|----|---|---|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
| 履歴書の書き方<br>手紙の書き方 | 10 | ○ | 書 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式などについて理解を深めている。</li> <li>・「書くこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方などについて、文章全体を整え、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。</li> </ul>                                                                                                | レポート                |
| 物語の外から            | 3  | ○ | 読 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</li> <li>・「読むこと」において文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。</li> <li>・積極的に筆者が述べる「自己」と「物語」の関係を捉え、自分の体験と結び付けながら考えをまとめ、理解を深めようとしている。</li> </ul>                                     | 小テスト<br>振り返り<br>シート |
| カフェの開店準備          | 4  | ○ | 読 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。</li> <li>・粘り強く具体例を通して筆者の思考をたどることでその考えを理解し、自分の経験を振り返って日常生活の在り方についてまとめ、話し合おうとしている。</li> </ul>                     | 小テスト<br>振り返り<br>シート |
| 学ぶことと人間の知恵        | 4  | ○ | 読 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</li> <li>・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。</li> <li>・積極的に論理の展開を捉えて筆者の考えを理解し、人間の思考や学ぶことの意義について、コンピューターと比較することによって筆者の意図と自分の考えを整理し、話し合おうとしている。</li> </ul> | 小テスト<br>振り返り<br>シート |
| ラップトップ抱えた「石器人」    | 4  | ○ | 読 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。</li> <li>・積極的に筆者の主張を事実との関係に注意しながら読み取り、人間の思考や脳の働きについて、考えを深めようとしている。</li> </ul>                                                | 小テスト<br>振り返り<br>シート |
| 資料を整理し、テーマを吟味しよう  | 10 | ○ | 書 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。</li> <li>・「書くこと」において、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。</li> <li>・積極的にレポートを書くための資料の収集・整理の方法を理解し、学習の見通しをもって収集した資料の論点を整理してテーマを見直し、適切なテーマを設定しようとしている。</li> </ul>          | レポート                |

| 学習内容               | 時数 | 内容の評価の観点 |   |   | 学習のねらい及び評価規準                                                                                                                                                                                                                                    | 評価方法            |
|--------------------|----|----------|---|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
|                    |    | 知        | 思 | 主 |                                                                                                                                                                                                                                                 |                 |
| 鏡としてのアンドロイド        | 3  | ○        | 読 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、要旨を把握している。</li> <li>・進んで話題に注意して文章を読み、筆者の研究を踏まえた人間に対する考えを理解したうえで、自分の意見を述べようとしている。</li> </ul>         | 小テスト<br>振り返りシート |
| ロボットが隣人になるとき       | 3  | ○        | 読 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</li> <li>・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、内容を解釈している。</li> <li>・積極的に筆者の哲学的な思考を、「自由意志を持ったロボットを作ることができる」ことが可能か否かを考えることを通して理解し、意見を述べようとしている。</li> </ul> | 小テスト<br>振り返りシート |
| 思考の肺活量             | 4  | ○        | 読 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、多面的・多角的な視点から評価している。</li> <li>・粘り強く比喩によって表現された筆者の主張を読み取り、筆者の述べる「思考」のあるべき姿について理解を深めようとしている。</li> </ul>         | 小テスト<br>振り返りシート |
| 安心について             | 4  | ○        | 読 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、主張を支える根拠等を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性を吟味して内容を解釈している。</li> <li>・積極的に文章の展開を把握して筆者の考えを読み取り、筆者が捉えている「安心」の本質について考えを深め、まとめようとしている。</li> </ul>               | 小テスト<br>振り返りシート |
| 2 論証する力<br>3 要約する力 | 2  | ○        | 読 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。</li> <li>・進んで演繹的な推論について理解し、広い意味での「論理」における言葉の関連性や文章構造について捉えようとしている。</li> </ul>    | 小テスト<br>振り返りシート |
| 前期期末考查             | 1  | ○        | 読 |   |                                                                                                                                                                                                                                                 |                 |

| 学習内容           | 時数 | 内容の評価の観点 |   |   | 学習のねらい及び評価規準                                                                                                                                                                                                                                                | 評価方法            |
|----------------|----|----------|---|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
|                |    | 知        | 思 | 主 |                                                                                                                                                                                                                                                             |                 |
| 仮説を立てて検証しよう    | 12 | ○        | 書 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主張とその前提や反証などの関係について理解を深めている。</li> <li>・「書くこと」において、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。</li> <li>・積極的に仮説を立てて検証する方法を理解し、情報を収集・整理し、分析することによって仮説の妥当性を判断し、検証の過程を文章にまとめようとしている。</li> </ul>                 | 小テスト<br>振り返りシート |
| 言葉は「ものの名前」ではない | 4  | ○        | 読 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、要旨を把握している。</li> <li>・粘り強く具体例をもとに言語と認識の関係についての筆者の主張を読み取り、言葉の働きについて考えをまとめ、話し合おうとしている。</li> </ul>                                | 小テスト<br>振り返りシート |
| 科学的「発見」とは      | 4  | ○        | 読 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。</li> <li>・中心的主張と事例の関係、「問い」と「主張」という文章の構造を理解し、科学的視点に立った、ものの見方や考え方を理解しようとしている。</li> </ul>         | 小テスト<br>振り返りシート |
| 弱肉強食は自然の摂理か    | 4  | ○        | 読 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、多面的・多角的な視点から評価している。</li> <li>・積極的に筆者の提示する問題や根拠を、文章の論理展開や提示された資料をもとに筆者の主張を的確に理解し、その内容について話し合おうとしている。</li> </ul>           | 小テスト<br>振り返りシート |
| 複数の「わたし」       | 4  | ○        | 読 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</li> <li>・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性を吟味して内容を解釈している。</li> <li>・粘り強く筆者の挙げる考え方や事例が示すことを読み取り、筆者の言う「わたし」の捉え方について理解し、「わたし」に対する見方を広げようとしている。</li> </ul> | 小テスト<br>振り返りシート |

| 学習内容            | 時数 | 内容の評価の観点 |   |   | 学習のねらい及び評価規準                                                                                                                                                                                                                                                     | 評価方法            |
|-----------------|----|----------|---|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
|                 |    | 知        | 思 | 主 |                                                                                                                                                                                                                                                                  |                 |
| 知識における作者性と構造的性  | 5  | ○        | 読 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。</li> <li>・粘り強く筆者の述べる「ネット情報」と「本」の違いを読み取り自身のインターネット上の情報の扱い方を振り返り、適切なネット情報の捉え方について話し合おうとしている。</li> </ul> | 小テスト<br>振り返りシート |
| 資料を活用して論述しよう    | 12 | ○        | 書 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。</li> <li>・「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味し、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。</li> <li>・粘り強くテーマに沿った資料を収集・整理して論題設定し、資料の価値づけを行い、意見を明確にして論述しようとしている。</li> </ul>                                   | レポート            |
| はじめに「言葉」がある     | 4  | ○        | 読 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。</li> <li>・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。</li> <li>・粘り強く筆者が述べる「ファッション」と「言葉」の関係を捉え、「働くこと」と「言葉」の関わりについて自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。</li> </ul>        | 小テスト<br>振り返りシート |
| 楽しく働くこと、楽しく働くこと | 4  | ○        | 読 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。</li> <li>・進んで「楽しく働くこと」について、筆者の立場に基づく考えを理解し「働くよろこび」について考えをまとめ、話し合おうとしている。</li> </ul>                  | 小テスト<br>振り返りシート |
| ホンモノのおカネの作り方    | 4  | ○        | 読 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</li> <li>・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。</li> <li>・進んで筆者の示す問題提起と結論を具体例から読み取り、抽象的な「貨幣」というものの本質について、経済の仕組みとともに理解を深め、話し合おうとしている。</li> </ul>  | 小テスト<br>振り返りシート |

| 学習内容         | 時数  | 内容の評価の観点        |   |   | 学習のねらい及び評価規準                                                                                                                                                                                                                                                         | 評価方法                |
|--------------|-----|-----------------|---|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|
|              |     | 知               | 思 | 主 |                                                                                                                                                                                                                                                                      |                     |
| 未来のありか       | 4   | ○               | 読 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。</li> <li>・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを深めている。</li> <li>粘り強く筆者の示す具体例や資料から論旨をたどり、筆者の主張を踏まえたとうえで、自分の考える「未来」について話し合い、自分自身の生き方についても考えを深めようとしている。</li> </ul> | 小テスト<br>振り返り<br>シート |
| 学年末考査        | 1   | ○               | 読 |   |                                                                                                                                                                                                                                                                      |                     |
| 資料を活用して論述しよう | 8   | ○               | 書 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。</li> <li>・「書くこと」において、個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味し、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。</li> <li>・粘り強くテーマに沿った資料を収集・整理して論題設定し、資料の価値づけを行い、意見を明確にして論述しようとしている。</li> </ul>                                       | レポート                |
| 合計           | 140 | 書く領域：50 読む領域：90 |   |   |                                                                                                                                                                                                                                                                      |                     |

## 令和6年度 教科年間計画

|    |      |     |          |                                                 |
|----|------|-----|----------|-------------------------------------------------|
| 教科 | 歴史歴史 | 2年  | 使用<br>教材 | 【教科書】明解 歴史総合（帝国書院）                              |
| 科目 | 歴史総合 | 2単位 |          | 【副教材】明解 歴史総合ノート（帝国書院）<br>明解 歴史総合図説 シンフォニア（帝国書院） |

### 科目の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次育成する。

### 【評価の観点】

| 評価の観点<br>(重点項目には○)         |                                                                                                                                                                 | 観点別学習状況の評価基準                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                            |                    |
|----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
|                            |                                                                                                                                                                 | A（十分満足できる）                                                                                                                                                              | B（おおむね満足できる）                                                                                                                                               | C(努力を要する)          |
| ①知識・<br>技能                 | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。                                           | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を十分に理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。                                                 | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けている。                                            | 左側の求められる基準に達していない。 |
| ②思考力<br>判断力<br>表現力         | 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っているか。 | 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを適切に活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを筋道を立てて効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養っている。 | 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養っている。 | 左側の求められる基準に達していない。 |
| ③主体的<br>に学習に<br>取り組む<br>態度 | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深められているか。            | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深められているか。                    | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深められているか。                               | 左側の求められる基準に達していない。 |

**授業計画**（評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度）

| 単元名             | 学習内容           | 時<br>数 | 内容の評価の観点 |   |   | 学習のねらい及び評価規準                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 評 価<br>方法      |
|-----------------|----------------|--------|----------|---|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
|                 |                |        | 知        | 思 | 主 |                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                |
| 歴史の<br>扉        | 歴史と私たち         | 2      |          |   | ○ | 課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重する態度や自覚を深められているか。                                                                                                                                                                                                                        | 単元テスト①<br>プリント |
|                 | 歴史の特質と資料       | 2      | ○        |   |   | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。                                                                                                                                                                             | 単元テスト①<br>プリント |
| 単元テスト①          |                | 1      | ○        | ○ |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                |
| 近代化<br>と私<br>たち | 近代化への問い        | 3      | ○        | ○ | ○ | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。<br><br>近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。<br><br>課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重する態度や自覚を深められているか。 | 単元テスト②<br>プリント |
|                 | 江戸時代の日本と結びつく世界 | 2      | ○        | ○ |   | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。<br><br>近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。                                                                              | 単元テスト②<br>プリント |
| 単元テスト②          |                | 1      | ○        | ○ |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                |
| 近代化<br>と私<br>たち | 欧米諸国における近代化    | 3      | ○        | ○ |   | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。<br><br>近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。                                                                              | 単元テスト③<br>プリント |
|                 | 近代化の進展と国民国家形成  | 4      | ○        | ○ |   | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。<br><br>近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。                                                                              | 単元テスト③<br>プリント |

|                                 |                     |   |   |   |   |                                                                                                                                                                                                                        |                |
|---------------------------------|---------------------|---|---|---|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
|                                 |                     |   |   |   |   | り、議論したりする力を養っているか。                                                                                                                                                                                                     |                |
| 単元テスト③                          |                     | 1 | ○ | ○ |   |                                                                                                                                                                                                                        |                |
| 近代化<br>と私たち                     | アジア諸国の動揺と日本の<br>開国  | 4 | ○ |   | ○ | <p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。</p> <p>課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重する態度や自覚を深められているか。</p>                   | 単元テスト④<br>プリント |
|                                 | 近代化が進む日本と東<br>アジア   | 3 | ○ | ○ |   | <p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。</p> <p>近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。</p> | 単元テスト④<br>プリント |
| 単元テスト④                          |                     | 1 | ○ | ○ |   |                                                                                                                                                                                                                        |                |
| 国際秩<br>序の変<br>化や大<br>衆化と<br>私たち | 国際秩序の変化や大衆<br>化への問い | 3 | ○ |   | ○ | <p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。</p> <p>課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重する態度や自覚を深められているか。</p>                   | 単元テスト⑤<br>プリント |
|                                 | 第一次世界大戦と日本<br>の対応   | 4 | ○ | ○ |   | <p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。</p> <p>近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。</p> | 単元テスト⑤<br>プリント |
| 単元テスト⑤                          |                     | 1 | ○ | ○ |   |                                                                                                                                                                                                                        |                |
| 前期期末考査                          |                     | 1 | ○ | ○ | ○ | 単元テスト①～⑤のまとめ                                                                                                                                                                                                           |                |

| 単元名             | 学習内容          | 時数 | 内容の評価の観点 |   |   | 学習のねらい及び評価規準                                                                                                                                                                                                           | 評価方法           |
|-----------------|---------------|----|----------|---|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
|                 |               |    | 知        | 思 | 主 |                                                                                                                                                                                                                        |                |
| 国際秩序の変化や大衆化と私たち | 国際協調と大衆社会の広がり | 4  | ○        | ○ |   | <p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。</p> <p>近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。</p> | 単元テスト⑥<br>プリント |
|                 | 日本の行方と第二次世界大戦 | 5  | ○        | ○ |   | <p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。</p> <p>近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。</p> | 単元テスト⑥<br>プリント |
| 単元テスト⑥          |               | 1  | ○        | ○ |   |                                                                                                                                                                                                                        |                |
| 国際秩序の変化や大衆化と私たち | 再出発する世界と日本    | 5  | ○        | ○ |   | <p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。</p> <p>近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。</p> | 単元テスト⑦<br>プリント |
| グローバル化と私たち      | グローバル化への問い    | 3  | ○        |   | ○ | <p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。</p> <p>課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重する態度や自覚を深められているか。</p>                   | 単元テスト⑦<br>プリント |
| 単元テスト⑦          |               | 1  | ○        | ○ |   |                                                                                                                                                                                                                        |                |

|            |                 |    |   |   |                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                             |                |
|------------|-----------------|----|---|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| グローバル化と私たち | 冷戦で揺れる世界と日本     | 4  | ○ | ○ | <p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。</p> <p>近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。</p> | 単元テスト⑧<br>プリント                                                                                                                                                              |                |
|            | 多極化する世界         | 3  | ○ | ○ | <p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。</p> <p>近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。</p> | 単元テスト⑧<br>プリント                                                                                                                                                              |                |
| 単元テスト⑧     |                 | 1  | ○ | ○ |                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                             |                |
|            | グローバル化のなかの世界と日本 | 3  | ○ | ○ | <p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けているか。</p> <p>近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。</p> | 単元テスト⑨<br>プリント                                                                                                                                                              |                |
|            | 現代的な諸課題の形成と展望   | 2  |   | ○ | ○                                                                                                                                                                                                                      | <p>近現代の歴史の変化に関わる事象の特色や相互の関連、現代とのつながりなどに着目して考察したり、課題の解決に向けて構想したりする力や、説明したり、議論したりする力を養っているか。</p> <p>課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重する態度や自覚を深められているか。</p> | 単元テスト⑨<br>プリント |
| 単元テスト⑨     |                 | 1  | ○ | ○ |                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                             |                |
| 学年末考查      |                 | 1  | ○ | ○ | ○                                                                                                                                                                                                                      | 単元テスト⑥～⑨のまとめ                                                                                                                                                                |                |
| 時数合計       |                 | 70 |   |   |                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                                                                                                             |                |

## 令和6年度 教科年間計画

|    |     |     |    |                       |
|----|-----|-----|----|-----------------------|
| 教科 | 数学  | 2年  | 使用 | 【教科書】最新 数学Ⅱ（数研出版）     |
| 科目 | 数学Ⅱ | 4単位 | 教材 | 【副教材】3ROUND 数学Ⅱ（数研出版） |

### 【科目の目標】

いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

### 【評価の観点】

| 評価の観点              |                                                                                                                                                                                                                   | 観点別学習状況の評価基準                                                                                                                                                                                                      |                                                                                                                                                       |                    |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
|                    |                                                                                                                                                                                                                   | A（十分満足できる）                                                                                                                                                                                                        | B（おおむね満足できる）                                                                                                                                          | C（努力を要する）          |
| ①知識・技能             | いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。                                                                                             | いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。                                                                                                | いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。                                                                                   | 左側の求められる基準に達していない。 |
| ②思考力<br>判断力<br>表現力 | 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 | 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 | 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察する力を身に付けている。 | 左側の求められる基準に達していない。 |

|                |                                                                                                    |                                                                                         |                                                       |                    |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|--------------------|
| ③主体的に学習に取り組む態度 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたり、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。 | 左側の求められる基準に達していない。 |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|--------------------|

**授業計画**（評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度）

| 単元名  | 学習内容                              | 時数 | 内容の評価の観点 |   |   | 学習のねらい及び評価規準                                                                                                                                   | 評価方法                     |
|------|-----------------------------------|----|----------|---|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
|      |                                   |    | 知        | 思 | 主 |                                                                                                                                                |                          |
| 式と証明 | 多項式の乗法と因数分解                       | 2  | ○        | ○ |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>3次の展開公式及び因数分解の公式を用いて計算することができる。(知)</li> <li>数学Ⅰで既習の2次の展開公式を利用して、三次の展開公式を導くことができる。(思)</li> </ul>         | 小テスト                     |
|      | 二項定理                              | 3  |          | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>パスカルの三角形や組合せの考えを用いて二項定理について考察することができる。(思)</li> <li>パスカルの三角形や二項定理に関心を持ち、学習に取り組もうとしている。(主)</li> </ul>     | 小テスト<br>グループ学習<br>レポート提出 |
|      | 多項式の割り算<br>分数式の乗法・除法<br>分数式の加法・減法 | 4  | ○        | ○ |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>分数式の四則計算をすることができる。(知)</li> <li>多項式の割り算の結果を等式で表して考察することができる。(思)</li> </ul>                               | 小テスト                     |
|      | 恒等式                               | 3  | ○        |   | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>恒等式の性質を理解し、恒等式となるように係数を決定することができる。(知)</li> <li>恒等式の係数を決定する際に、係数比較法と数値代入法とを比較して考察しようとしている。(主)</li> </ul> | 小テスト<br>グループ学習<br>レポート提出 |
|      | 等式の証明                             | 3  |          | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>等式が成り立つことを論理的に考察し、証明することができる。(思)</li> <li>等式の証明を通じて、数学の論証に関心をもとうとしている。(主)</li> </ul>                    | 小テスト<br>レポート提出           |
|      | 不等式の証明                            | 3  | ○        | ○ |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>不等式の性質を用いた不等式の証明の方法について理解している。(知)</li> <li>実数や不等式の性質を利用して不等式が成り立つことを証明することができる。(思)</li> </ul>           | 小テスト<br>レポート提出           |
|      | 相加平均と相乗平均                         | 2  | ○        |   | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>相加平均と相乗平均の大小関係を利用して、不等式を証明することができる。(知)</li> <li>相加平均と相乗平均の大小関係の有用性に関心をもとうとしている。(主)</li> </ul>           | 小テスト<br>レポート提出           |

| 単元テスト           |                        | 1 | ○ | ○ |   |                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------------|------------------------|---|---|---|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 複素数<br>と<br>方程式 | 複素数                    | 3 | ○ | ○ |   | <ul style="list-style-type: none"><li>・数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算について計算することができる。(知)</li><li>・複素数の必要性や意味を、負の数の平方根と関連付けて考察することができる。(思)</li></ul> 小テスト<br>グループ<br>学習                                                    |
|                 | 2 次方程式の解と判別式           | 3 |   | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"><li>・2 次方程式の解について、実際に解を求めずに、判別式で解の種類を判別することができることを理解している。(思)</li><li>・2 次方程式の解が虚数になる場合もあることに関心を持ち、2 次方程式の解を考察しようとしている。(主)</li></ul> 小テスト<br>レポート<br>提出                             |
|                 | 解と係数の関係                | 4 | ○ | ○ |   | <ul style="list-style-type: none"><li>・解と係数の関係を用いて、2 数を解とする 2 次方程式を作ることができる。(知)</li><li>・2 次方程式の解と係数にはどのような関係があるのかを考察することができる。(思)</li></ul> 小テスト<br>ノート確<br>認                                                        |
|                 | 剰余の定理と因数定理<br>高次方程式の解法 | 3 | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"><li>・剰余の定理や因数定理を理解し、多項式の因数分解や除法における余りを求めることができる。(知)</li><li>・因数定理や因数分解を利用して、高次方程式を解くことが出来る。(思)</li><li>・因数定理を多項式の除法と関連付けて考察しようとしている。(主)</li></ul> 小テスト<br>グループ<br>学習<br>レポート<br>提出 |
| 考查または単元テスト      |                        | 1 | ○ | ○ |   |                                                                                                                                                                                                                      |
| 図形と<br>方程式      | 直線上の点                  | 3 | ○ |   |   | <ul style="list-style-type: none"><li>・数直線上において、2 点間の距離や線分の内分点、外分点の座標を求めることができる。(知)</li></ul> 小テスト                                                                                                                   |
|                 | 平面上の点                  | 3 | ○ |   | ○ | <ul style="list-style-type: none"><li>・座標平面上において、2 点間の距離や線分の内分点、外分点及び三角形の重心の座標を求めることができる。(知)</li><li>・数直線上の点に関する公式を利用して、平面上的問題を考察しようとしている。(主)</li></ul> 小テスト<br>レポート<br>提出                                           |
|                 | 直線の方程式                 | 2 | ○ | ○ |   | <ul style="list-style-type: none"><li>・与えられた条件を満たす直線の方程式の求め方を理解している。(知)</li><li>・1 点を通る直線の方程式から、異なる 2 点を通る直線の方程式に拡張して考察することができる。(思)</li></ul> 小テスト<br>グループ<br>学習                                                     |
|                 | 2 直線の平行と垂直             | 3 | ○ | ○ |   | <ul style="list-style-type: none"><li>・点と直線の距離の公式について理解し、その長さを求めることができる。(知)</li><li>・2 直線の平行・垂直の関係を、直線の傾きに着目して考察することができる。(思)</li></ul> 小テスト<br>グループ<br>学習                                                            |

|          |                       |   |   |   |   |                                                                                                                                                                    |                                  |
|----------|-----------------------|---|---|---|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|
|          | 円の方程式                 | 4 | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>与えられた条件を用いて、円の方程式を求めることができる。(知)</li> <li>与えられた方程式が、どのような図形を表すか判断することができる。(思)</li> <li>与えられた方程式が表す図形に関心をもっている。(主)</li> </ul> | 小テスト<br>グループ<br>学習<br>レポート<br>提出 |
|          | 円と直線                  | 4 | ○ | ○ |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>円と直線の共有点の座標や円の接線の方程式を求めることができる。(知)</li> <li>円と直線の位置関係を、判別式や点と直線の距離を活用して説明することができる。(思)</li> </ul>                            | 小テスト<br>レポート<br>提出               |
|          | 軌跡                    | 4 | ○ | ○ |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>軌跡の定義について理解し、与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。(知)</li> <li>点が満たす条件から得られた方程式を、図形として考察することができる。(思)</li> </ul>                        | 小テスト<br>グループ<br>学習               |
|          | 不等式の表わす領域<br>連立不等式と領域 | 7 | ○ | ○ |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>与えられた不等式や連立不等式を座標平面上の領域として図示することができる。(知)</li> <li>与えられた連立方程式を座標平面上の領域として図示し、それらを活用することができる。(思)</li> </ul>                   | 小テスト<br>グループ<br>学習<br>レポート<br>提出 |
| 単元テスト    |                       | 1 | ○ | ○ |   |                                                                                                                                                                    |                                  |
| 三角<br>関数 | 一般角<br>弧度法            | 2 | ○ |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>角の概念を一般角まで拡張する意義を理解し、弧度法により角を表したり、扇形の弧の長さや面積を求めたりすることができる。(知)</li> </ul>                                                    | 小テスト                             |
|          | 三角関数                  | 4 |   | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>三角比の定義を、三角関数の定義に一般化して考察することができる。(思)</li> <li>単位円を利用して、三角関数の性質を調べようとしている。(主)</li> </ul>                                      | 小テスト<br>レポート<br>提出               |
|          | 三角関数のグラフ              | 6 | ○ | ○ |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>三角関数のグラフの特徴について理解し、与えられた三角関数のグラフをかくことができる。(知)</li> <li>単位円周上の点の動きから、三角関数のグラフを考察することができる。(思)</li> </ul>                      | 小テスト<br>レポート<br>提出               |
|          | 三角関数を含む方程式、不等式        | 2 | ○ | ○ |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>三角関数を含む方程式、不等式の解き方を理解している。(知)</li> <li>三角関数を含む方程式、不等式を解く際に、単位円を図示して考察することができる。(思)</li> </ul>                                | 小テスト                             |

|            |            |   |   |   |                                                                                                                                                                                                              |                    |
|------------|------------|---|---|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
|            | 加法定理       | 3 | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・加法定理を利用して、三角関数の値を求めることができる。(知)</li> <li>・単位円を利用して三角関数の加法定理について考察することができる。(思)</li> </ul>                                                                              | 小テスト<br>レポート<br>提出 |
|            | 加法定理の応用    | 3 | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2倍角、半角の公式を利用して、三角関数の値を求めることができる。(知)</li> <li>・加法定理から、2倍角の公式、半角の公式を導こうとしている。(主)</li> </ul>                                                                            | 小テスト<br>レポート<br>提出 |
|            | 三角関数の合成    | 3 | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・三角関数の合成について理解し、それを利用して、関数の最大値・最小値を求めることができる。(知)</li> <li>・三角関数の合成を、グラフや加法定理と関連付けて考察することができる。(思)</li> </ul>                                                           | 小テスト<br>グループ<br>学習 |
| 単元テスト      |            | 1 | ○ | ○ |                                                                                                                                                                                                              |                    |
| 指数関数と対数関数  | 指数法則       | 3 | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。(知)</li> <li>・指数を整数へ拡張したときの指数法則について考察しようとしている。(主)</li> </ul>                                                         | 小テスト<br>レポート<br>提出 |
|            | 指数関数とそのグラフ | 3 | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指数関数のグラフの概形、特徴を理解している。(知)</li> <li>・指数関数の増減によって、大小関係や方程式・不等式を考察することができる。(思)</li> </ul>                                                                               | 小テスト<br>グループ<br>学習 |
|            | 対数         | 1 | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・対数の定義を理解し、対数の値を求めることができる。(知)</li> <li>・指数と対数との相互関係に関心をもとうとしている。(主)</li> </ul>                                                                                        | レポート<br>提出         |
|            | 対数の性質      | 3 | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・対数の基本的な性質について理解し、対数の値を計算することができる。(知)</li> <li>・指数法則と対数の定義から、対数の性質を考察することができる。(思)</li> </ul>                                                                          | 小テスト<br>グループ<br>学習 |
|            | 対数関数とそのグラフ | 3 | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・対数関数のグラフの概形、特徴を理解している。(知)</li> <li>・対数関数の増減によって、大小関係や方程式・不等式を考察することができる。(思)</li> </ul>                                                                               | 小テスト<br>グループ<br>学習 |
|            | 常用対数       | 3 | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・常用対数の意義を理解し、常用対数表を用いて、値を求めることができる。(知)</li> <li>・<math>n</math>桁の正の整数や小数首位が第<math>n</math>位の数を、不等式で表現することができる。(思)</li> <li>・桁数や小数首位の問題を一般化して考察しようとしている。(主)</li> </ul> | 小テスト<br>レポート<br>提出 |
| 考查または単元テスト |            | 1 | ○ | ○ |                                                                                                                                                                                                              |                    |

|                 |                   |     |   |   |                                                                                                             |                                                                                         |                |
|-----------------|-------------------|-----|---|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 微分法<br>と<br>積分法 | 平均変化率と微分係数        | 2   | ○ | ○ | ・平均変化率や微分係数の定義を理解し、関数の平均変化率や微分係数を求めることができる。(知)<br>・微分係数の図形的意味を理解している。(思)                                    | 小テスト<br>ノート確認                                                                           |                |
|                 | 導関数<br>いろいろな関数の微分 | 4   | ○ | ○ | ・定義に基づいて、導関数を求めることができる。(知)<br>・導関数の性質を利用して、さまざまな導関数の計算ができる。(知)<br>・導関数を表す様々な記号を理解し、それらを適切に使って表現することができる。(思) | 小テスト<br>レポート提出                                                                          |                |
|                 | 接線                | 2   |   | ○ | ・微分係数の図形的な意味と直線の方程式の公式から、接線の方程式を考察することができる。(思)                                                              | 小テスト<br>グループ学習                                                                          |                |
|                 | 関数の増減             | 2   | ○ | ○ | ・導関数を利用して、関数の増減を調べることができる。(知)<br>・関数の増減を、接線の傾きから考察することができる。(思)                                              | ノート確認                                                                                   |                |
|                 | 関数の極大・極小          | 4   |   | ○ | ○                                                                                                           | ・関数の極値を調べるのに、増減表を書いて考察することができる。(思)<br>・関数の極値を、導関数を用いて調べようとしている。(主)                      | 小テスト<br>レポート提出 |
|                 | 関数の最大・最小          | 2   |   | ○ |                                                                                                             | 最大値・最小値と極大値・極小値の違いを、明確に意識して考察することができる。(思)                                               | レポート提出         |
|                 | 方程式・不等式への応用       | 2   | ○ | ○ |                                                                                                             | ・関数の増減やグラフを調べることで、方程式の実数解の個数を求めることができる。(知)<br>・関数の増減を考察し、与えられた不等式が成り立つことを証明することができる。(思) | 小テスト<br>ノート確認  |
|                 | 不定積分<br>不定積分の計算   | 5   | ○ | ○ |                                                                                                             | ・不定積分の定義や性質を理解し、それを利用する不定積分の計算方法を理解している。(知)<br>・微分法の逆演算として不定積分を考察することができる。(思)           | 小テスト<br>グループ学習 |
|                 | 定積分<br>定積分の性質     | 5   | ○ |   |                                                                                                             | ・定積分の定義、公式や性質を理解し、それを利用する定積分の計算方法を理解している。(知)                                            | 小テスト<br>グループ学習 |
|                 | 面積                | 4   | ○ |   | ○                                                                                                           | ・直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分で表して求めることができる。(知)<br>・面積が定積分で表されることに興味をもち、考察しようとしている。(主)           | 小テスト<br>レポート提出 |
| 単元テスト           |                   | 1   | ○ | ○ |                                                                                                             |                                                                                         |                |
| 合計              |                   | 140 |   |   |                                                                                                             |                                                                                         |                |

## 令和6年度 教科年間計画

|    |      |     |    |                         |
|----|------|-----|----|-------------------------|
| 教科 | 数学   | 2年  | 使用 | 【教科書】最新 数学 B (数研出版)     |
| 科目 | 数学 B | 2単位 | 教材 | 【副教材】3ROUND 数学 B (数研出版) |

### 【科目の目標】

数列、統計的な推測について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と社会生活の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

### 【評価の観点】

| 評価の観点                      |                                                                                                                                              | 観点別学習状況の評価基準                                                                                                                                      |                                                                                                 |                    |
|----------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|
|                            |                                                                                                                                              | A (十分満足できる)                                                                                                                                       | B (おおむね満足できる)                                                                                   | C (努力を要する)         |
| ①知識・技能                     | 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。                                | 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したりする技能を身に付けている。                                                     | 数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。                                                          | 左側の求められる基準に達していない。 |
| ②思考力<br>判断力<br>表現力         | 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 | 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。 | 離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断する力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決する力を身に付けている。 | 左側の求められる基準に達していない。 |
| ③主体的<br>に学習に<br>取り組む<br>態度 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。                                           | 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたり、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。                                                           | 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしたりしている。                                           | 左側の求められる基準に達していない。 |

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度)

| 単元名   | 学習内容                      | 時数 | 内容の評価の観点 |   |   | 学習のねらい及び評価規準                                                                                                                                                      | 評価方法                             |
|-------|---------------------------|----|----------|---|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|
|       |                           |    | 知        | 思 | 主 |                                                                                                                                                                   |                                  |
| 数列    | 数列                        | 1  | ○        |   | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・数列の定義, 表記について理解している。(知)</li> <li>・数の並び方に興味をもち, その規則性を発見しようとしている。(主)</li> </ul>                                            | 小テスト<br>レポート<br>提出               |
|       | 等差数列                      | 2  | ○        | ○ |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・等差数列についての基本的な用語を理解し, 初項と公差から一般項を求めることができる。(知)</li> <li>・一定の数を次々に加えて得られるという規則をもとにして, 等差数列の一般項について考察することができる。(思)</li> </ul> | 小テスト<br>グループ<br>学習               |
|       | 等差数列の和                    | 2  | ○        |   | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・等差数列の初項や公差を用いて初項から第<math>n</math>項までの和を求めることができる。(知)</li> <li>・等差数列の和を工夫して求める方法に興味を持ち, 等差数列の和の公式を導こうとしている。(主)</li> </ul>  | 小テスト<br>グループ<br>学習               |
|       | 等比数列                      | 2  | ○        |   | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・等比数列についての基本的な用語を理解し, 初項と公比から一般項を求めることができる。(知)</li> <li>・一定の数を次々に掛けて得られるという規則をもとにして, 等比数列の一般項について考察しようとしている。(主)</li> </ul> | 小テスト<br>グループ<br>学習<br>レポート<br>提出 |
|       | 等比数列の和                    | 2  | ○        |   | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・等比数列の初項や公比を用いて初項から第<math>n</math>項までの和を求めることができる。(知)</li> <li>・等比数列の和を工夫して求める方法に興味をもち, 等比数列の和の公式を導こうとしている。(主)</li> </ul>  | 小テスト<br>グループ<br>学習<br>レポート<br>提出 |
|       | 和の記号 $\Sigma$<br>自然数の2乗の和 | 3  | ○        |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・記号<math>\Sigma</math>の意味を理解し, <math>\Sigma</math>の公式や<math>\Sigma</math>の性質を用いて, 与えられた和を求めることができる。(知)</li> </ul>          | 小テスト<br>グループ<br>学習               |
|       | いろいろな数列の和                 | 2  | ○        | ○ |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・数列の和から一般項を求めることができる。(知)</li> <li>・分数で表された数列の和を, 2つの分数の差の形に分解して求めることができる。(思)</li> </ul>                                    | 小テスト<br>グループ<br>学習               |
|       | 階差数列                      | 2  | ○        |   | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・階差数列についての基本的な性質を利用して, 数列の一般項を求めることができる。(知)</li> <li>・階差数列の和を利用して, 数列の一般項を考えようとしている。(主)</li> </ul>                         | 小テスト<br>グループ<br>学習<br>レポート<br>提出 |
| 単元テスト |                           | 1  | ○        | ○ |   |                                                                                                                                                                   |                                  |

|            |                          |   |   |   |                                                                                                                                                                                                                          |                                  |
|------------|--------------------------|---|---|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------|
| 数列         | 漸化式と一般項                  | 4 | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・漸化式の意味を理解し、与えられた漸化式から数列の一般項を求めることができる。(知)</li> <li>・置きかえや工夫を要する複雑な漸化式について、考察しようとする。(思)</li> </ul>                                                                                | 小テスト<br>グループ<br>学習               |
|            | 数学的帰納法                   | 4 |   | ○ | ○ <ul style="list-style-type: none"> <li>・数学的帰納法を用いて、等式、不等式を証明することができる。(思)</li> <li>・数学的帰納法を利用して、いろいろな事柄を積極的に証明しようとしている。(主)</li> </ul>                                                                                   | グループ<br>学習<br>レポート<br>提出         |
| 考查または単元テスト |                          | 1 | ○ | ○ |                                                                                                                                                                                                                          |                                  |
| 統計的<br>な推測 | 確率変数と確率                  | 2 | ○ |   | ○ <ul style="list-style-type: none"> <li>・確率変数や確率分布の意味を理解し、確率分布を求めることができる。(知)</li> <li>・確率的な試行の結果を表すのに確率分布を用いることのよさに気づき、確率分布について積極的に考察しようとしている。(主)</li> </ul>                                                            | グループ<br>学習<br>レポート<br>提出         |
|            | 確率変数の期待値<br>分散と標準偏差      | 4 | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・確率分布の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。(知)</li> <li>・確率変数の期待値、分散、標準偏差を用いて確率分布の特徴を考察することができる。(思)</li> </ul>                                                                                   | 小テスト<br>グループ<br>学習               |
|            | 二項分布<br>二項分布と期待値、分散、標準偏差 | 4 | ○ |   | ○ <ul style="list-style-type: none"> <li>・反復の試行の結果を、二項分布を用いて表したり、二項分布に従う確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めたりすることができる。(知)</li> <li>・二項分布の期待値と分散がどのようなになるか考察しようとしている。(主)</li> </ul>                                                       | 小テスト<br>グループ<br>学習<br>レポート<br>提出 |
|            | 連続型確率変数                  | 2 | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・連続的な確率変数について理解し、確率密度関数から確率を求めることができる。(知)</li> <li>・面積を利用した確率分布の表し方を理解している。(思)</li> </ul>                                                                                         | 小テスト<br>グループ<br>学習               |
|            | 正規分布                     | 2 | ○ | ○ | ○ <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準正規分布表を用いて、標準正規分布に関する確率を求めることができる。(知)</li> <li>・正規分布の特徴を理解し、一般の正規分布を標準化することで、標準正規分布に従うことを説明することができる。(思)</li> <li>・連続的な確率変数である正規分布に興味を持ち、正規分布について積極的に考察しようとしている。(主)</li> </ul> | 小テスト<br>グループ<br>学習<br>レポート<br>提出 |
|            | 二項分布の正規分布による近似           | 2 | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・二項分布に従う確率変数に関する確率の計算を、正規分布に従う確率分布で近似して求めることができる。(知)</li> <li>・二項分布のグラフと正規分布曲線の関係を考察することができる。(思)</li> </ul>                                                                       | 小テスト<br>グループ<br>学習               |

|            |                  |    |   |   |   |                                                                                                                                                                                                           |                  |
|------------|------------------|----|---|---|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
|            | 母集団と標本           | 2  | ○ |   | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・全数調査と標本調査の特徴を理解し、適する調査方法を選ぶことができる。(知)</li> <li>・母集団や標本の特徴を理解しようとしている。(主)</li> </ul>                                                                               | グループ学習           |
|            | 標本平均の分布          | 2  | ○ | ○ |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・母平均と母標準偏差が分かれば、標本平均の値がどのくらいの確率で現れるか推測できることを理解している。(知)</li> <li>・母平均と母標準偏差の考え方や標本平均の期待値と標準偏差の考え方が分かる。(思)</li> </ul>                                                | グループ学習<br>ノート確認  |
|            | 母平均の推定<br>母比率の推定 | 3  | ○ | ○ |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・推定に関わる用語・記号を適切に活用することができる。(知)</li> <li>・推定や信頼区間の考え方が分かる。(思)</li> </ul>                                                                                            | 小テスト<br>レポート提出   |
|            | 仮説検定             | 2  | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・仮説検定に関わる用語・記号を適切に活用することができる。(知)</li> <li>・仮説検定の考え方が分かる。(思)</li> <li>・精度付きの評価に関心を持ち、調べてみようとしている。(主)</li> </ul>                                                     | レポート提出           |
| 考查または単元テスト |                  | 1  | ○ | ○ |   |                                                                                                                                                                                                           |                  |
| 数学と社会生活    | 数学を用いた考察         | 3  | ○ |   | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活における問題や社会問題を数学的に考察するときの手順を理解している。(知)</li> <li>・問題解決の過程や結果の妥当性について批判的に考察したり、そこで用いた方法を一般化したりして、別の仮定について積極的に考察しようとしている。(主)</li> </ul>                            | グループ学習<br>レポート提出 |
|            | 社会で用いられる数値や指標    | 3  | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・偏差値はデータ全体における相対的な位置を表す値であることを理解している。(思)</li> <li>・社会で用いられる数値や指標について関心を持ち、調べようとしている。(関)</li> </ul>                                                                 | グループ学習<br>レポート提出 |
|            | 変化をとらえる          | 5  | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査したい目的に応じて移動平均をとる期間を調整する必要があることを理解している。(知)</li> <li>・散布図に表したデータを関数とみなして処理できることを理解している。(思)</li> <li>・いくつかの定め方がある移動平均、回帰直線、回帰曲線について、他の定め方を調べようとしている。(主)</li> </ul> | グループ学習<br>レポート提出 |
| 大学入試問題対策   |                  | 10 | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入試や大学入試共通テストの問題に取り組む。(関)</li> <li>・問題演習を通じて、問題を解く際の観点を身に付ける。(知)、(思)</li> </ul>                                                                                  | 課題プリント           |
| 合計         |                  | 70 |   |   |   |                                                                                                                                                                                                           |                  |

## 令和6年度 教科年間計画

|    |      |     |    |                       |
|----|------|-----|----|-----------------------|
| 教科 | 理科   | 2年  | 使用 | 【教科書】 東京書籍 新編 生物基礎    |
| 科目 | 生物基礎 | 2単位 | 教材 | 【副教材】 東京書籍 新編 ニューサポート |

### 科目の目標

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

### 【評価の観点】

| 評価の観点<br>(重点項目には○)     |                                                                                                   | 観点別学習状況の評価基準                                                                                         |                                                                                                   |            |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
|                        |                                                                                                   | A (十分満足できる)                                                                                          | B (おおむね満足できる)                                                                                     | C (努力を要する) |
| ①<br>知識・技能             | 生物の特徴について、生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 | 生物の特徴について、生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を十分に身に付けている。 | 生物の特徴について、生物の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 | 基準に達していない  |
| ②<br>思考力<br>判断力<br>表現力 | 生物の共通性と多様性について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。                                | 生物の共通性と多様性について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に深く探究している。                                 | 生物の共通性と多様性について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。                                | 基準に達していない  |
| ③<br>主体的に学習に取り組む態度     | 生物の共通性と多様性に関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。                                     | 生物の共通性と多様性に関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に深く探究しようとしている。                                      | 生物の共通性と多様性に関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。                                     | 基準に達していない  |

**授業計画**（評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度）

| 単元名                                                 | 学習内容         | 時数 | 内容の評価の観点 |   |   | 学習のねらい及び評価規準                                                                                                                                                                                                      | 評価方法                                                                                |
|-----------------------------------------------------|--------------|----|----------|---|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                     |              |    | 知        | 思 | 主 |                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                     |
| 1編<br>生物の<br>特徴<br><br>1章<br>生物の<br>多様性<br>と共通<br>性 | 1節 生物の多様性    | 3  | ○        | ○ |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通祖先から由来した生物は共通の特徴をもつことについて理解している。(知)</li> <li>・実習1の脊椎動物の特徴の比較から、生物の共通性と起源の共有には関連性があることを見いだして考察している。(思)</li> </ul>                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・実験</li> <li>・単元テスト</li> </ul> |
|                                                     | 2節 生物の共通性    | 4  | ○        | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の多様性や共通性を正しく理解している。(知)</li> <li>・生物の顕微鏡観察とDNAの抽出から、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして表現している。(思)</li> <li>・実習2の結果を主体的に考察して表現しようとしている。(主)</li> <li>・実験「ブロックリーのDNA抽出」</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・実験</li> <li>・単元テスト</li> </ul> |
|                                                     | 3節 細胞の特徴     | 2  | ○        |   | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞の構造と真核細胞、原核細胞について理解している。(知)</li> <li>・生物の多様性と共通性について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。(主)</li> </ul>                                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・実験</li> <li>・単元テスト</li> </ul> |
| 1編<br>生物の<br>特徴<br><br>2章<br>生物と<br>エネル<br>ギー       | 1節 生体とATP    | 2  | ○        |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ATPが代謝におけるエネルギーの授受に必ず関係し、ATPの構造と生物が利用できるエネルギーが蓄えられている結合について理解している。(知)</li> </ul>                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・実験</li> <li>・単元テスト</li> </ul> |
|                                                     | 2節 酵素のはたらき   | 3  | ○        |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験から、酵素の基質特異性を見いだして表現している。(思)</li> <li>・酵素の基本的な特徴を理解している。(知)</li> <li>・実験「パイナップルの酵素」</li> </ul>                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・実験</li> <li>・単元テスト</li> </ul> |
|                                                     | 3節 呼吸と光合成    | 3  |          |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・代謝について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。(思)</li> <li>・呼吸と呼吸の概要を理解している。(知)</li> <li>・実験「ナッツの燃焼」</li> </ul>                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・実験</li> <li>・単元テスト</li> </ul> |
| 2編<br>遺伝子と<br>そのはた<br>らき<br>1章<br>遺伝情報<br>とDNA      | 1節 生物と遺伝子    | 2  | ○        |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺伝情報やゲノムについて体系的に理解している。(知)</li> </ul>                                                                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・実験</li> <li>・単元テスト</li> </ul> |
|                                                     | 2節 DNAの構造    | 3  | ○        | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・DNAの特徴について、塩基の相補性によって形成される2本鎖構造であること、塩基の配列が遺伝情報となることを理解している。(知)</li> <li>・DNA模型の作製から、DNAの構造の規則性や関係性を見いだして表現している。(思)</li> <li>・(主)</li> </ul>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・実験</li> <li>・単元テスト</li> </ul> |
|                                                     | 3節 DNAの複製と分配 | 3  | ○        | ○ |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞周期の間にDNAの複製が行われ、分裂期にDNAが等しく分配され、結果としてどの細胞でも同じ遺伝情報をもつことを理解している。(知)</li> <li>・DNAの構造で学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。(思)</li> </ul>                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・実験</li> <li>・単元テスト</li> </ul> |

| 単元名                                                 | 学習内容           | 時数 | 内容の評価の観点 |   |   | 学習のねらい及び評価規準                                                                                                                                                            | 評価方法                  |
|-----------------------------------------------------|----------------|----|----------|---|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
|                                                     |                |    | 知        | 思 | 主 |                                                                                                                                                                         |                       |
| 2 編 遺伝子とそ<br>のはたらき<br>2 章 遺<br>伝情報と<br>タンパク<br>質の合成 | 1 節 タンパク質      | 2  | ○        |   |   | ・タンパク質の構成単位や生体内での役割やはたらきについて理解している。(知)                                                                                                                                  | ・ワーク<br>・実験<br>・単元テスト |
|                                                     | 2 節 タンパク質と遺伝情報 | 3  | ○        | ○ | ○ | ・DNA の塩基配列から mRNA の塩基配列へ転写され、mRNA の塩基配列から tRNA を介してアミノ酸配列へと翻訳される情報の流れを理解している。(知)<br>・DNA の塩基配列と、それに対応するタンパク質のアミノ酸配列に関する資料から、DNA の塩基配列とアミノ酸配列の間にある関係性を見いだして表現している。(思)(主) | ・ワーク<br>・実験<br>・単元テスト |
|                                                     | 3 節 細胞の分化と遺伝子  | 2  | ○        | ○ |   | ・個体を構成する細胞は遺伝的に同一だが、細胞の機能に応じて発現している遺伝子が異なることを理解している。(知)<br>・セントラルドグマについて、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。(思)                                                              | ・ワーク<br>・実験<br>・単元テスト |
| 前期期末考査                                              |                | 1  |          |   |   |                                                                                                                                                                         |                       |

|                                       |                 |   |   |   |   |                                                                                                                                                   |                       |
|---------------------------------------|-----------------|---|---|---|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 3 編<br>ヒトの体の調節<br>1 章<br>ヒトの体を調節するしくみ | 1 節 体内環境        | 4 | ○ |   |   | ・体外環境と体内環境、体液の関係について理解している。体内での情報伝達の経路として、神経系・循環系・内分泌系があり、体内環境はさまざまな器官のはたらきによって保たれていることを理解している。(知)                                                | ・ワーク<br>・実験<br>・単元テスト |
|                                       | 2 節 神経系による情報伝達  | 3 | ○ | ○ |   | ・神経系の構成や情報伝達のしくみについて理解している。体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを理解している。脳の構造やおもなはたらきについて理解している。(知)<br>・実験の結果を主体的に考察して表現しようとしている。(思)(主)<br>・実験「鶏頭の解剖」            | ・ワーク<br>・実験<br>・単元テスト |
|                                       | 3 節 内分泌系による情報伝達 | 2 | ○ |   | ○ | ・内分泌腺や分泌されるホルモン、その作用について理解している。ホルモンの受容や機能するしくみについて理解している。フィードバックによって、ホルモンの分泌量が調節されていることを理解している。(思)<br>・内分泌系について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。(主) | ・ワーク<br>・実験<br>・単元テスト |
|                                       | 4 節 血糖濃度の調節     | 2 | ○ | ○ | ○ | ・食事の前後における血糖濃度と、血中のインスリン濃度、グルカゴン濃度の経時的変化を示す資料から、血糖濃度の変化とインスリン、グルカゴンのはたらきとの関係に気付き考察している。(思)<br>・実験の結果を主体的に考察して表現しようとしている。(主)                       | ・ワーク<br>・実験<br>・単元テスト |

| 単元名                                              | 学習内容           | 時数 | 内容の評価の観点 |   |   | 学習のねらい及び評価規準                                                                                                                                                                                                                  | 評価方法                                                                                |
|--------------------------------------------------|----------------|----|----------|---|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                  |                |    | 知        | 思 | 主 |                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                     |
| 3 編<br>ヒトの<br>体の調<br>節<br>2 章<br>免疫の<br>はたら<br>き | 1 節 免疫のしくみ     | 2  | ○        | ○ |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食細胞などによる自然免疫やリンパ球による適応免疫が病原体の排除にはたらいっていることを理解している。血液凝固について、失血を防ぐことによって、体内環境を保つことに関わっていることを理解している。(知)</li> <li>・白血球の一種である好中球の食作用の資料から、異物を細胞に取り込み、処理する能力をもつことに気づき、考察している。(思)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・実験</li> <li>・単元テスト</li> </ul> |
|                                                  | 2 節 免疫の応用      | 2  | ○        | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一次応答と二次応答、免疫記憶を応用した予防接種のしくみを理解している。(知)</li> <li>・一次応答と二次応答の抗体生産量の変化を示した資料から、同じ疾患に二度とかかりにくい理由に気づき、考察している。(思)(主)</li> </ul>                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・実験</li> <li>・単元テスト</li> </ul> |
|                                                  | 3 節 免疫とさまざまな疾患 | 2  | ○        | ○ |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アレルギー、自己免疫疾患、AIDS などの疾患のメカニズムを理解している。(知)</li> <li>・免疫について、学習した用語どうしのつながりを整理し、振り返ろうとしている。(主)</li> </ul>                                                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・実験</li> <li>・単元テスト</li> </ul> |

|                                                                    |                   |   |   |   |   |                                                                                                                                                                    |                                                                                     |
|--------------------------------------------------------------------|-------------------|---|---|---|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 4 編<br>生物の<br>多 様 性<br>と 生 態<br>系<br>1 章<br>植 生 と<br>遷 移           | 1 節 身のまわりの植生      | 2 | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境要因としての光と土壌の変化や特徴について理解している。(知)</li> <li>・身近な植生と環境の観察から、植生と土壌、光の当たり方などの環境条件との関係に気づき、考察している。(思)(主)</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・実験</li> <li>・単元テスト</li> </ul> |
|                                                                    | 2 節 植生の遷移         | 3 | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル的な遷移の過程を理解している。(知)</li> <li>・自然災害の種類と一次遷移・二次遷移の関係を理解しようとしている。(思)(主)</li> <li>・実験「植生ゲーム」</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・実験</li> <li>・単元テスト</li> </ul> |
|                                                                    | 3 節 遷移とバイオーム      | 3 | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・遷移の結果、気候に応じたバイオームが形成されることを理解している。(知)</li> <li>・森林、草原、砂漠が成立する場所の年平均気温と年降水量を調べ、環境条件によって植生が異なることに気づき、考察している。(思)(主)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・実験</li> <li>・単元テスト</li> </ul> |
| 4 編<br>生物の<br>多 様 性<br>と 生 態<br>系<br>2 章<br>生 態 系 と 生 物<br>の 多 様 性 | 1 節 生態系における生物の多様性 | 2 | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境と生態系の種多様性の関係について理解している。(知)</li> <li>・生態系の中に多種類の生物が存在しており、出現する生物の種類数や個体数と環境との関係について見いだして考察している。(思)(主)</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・単元テスト</li> </ul>              |
|                                                                    | 2 節 生態系における生物間の関係 | 2 | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系の維持について理解している。(知)</li> <li>・捕食と被食の関係が種多様性に関わることを見いだして考察している。(思)(主)</li> </ul>                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・単元テスト</li> </ul>              |
|                                                                    | 3 節 生態系と人為的攪乱     | 2 | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系のバランスと人為的攪乱を関連づけて理解している。(知)</li> <li>・多様な生物と環境が関係し合いながらバランスを保ち、攪乱が大きい場合にはバランスが崩れることに気づき考察している。(思)(主)</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・単元テスト</li> </ul>              |
|                                                                    | 4 節 生態系の保全        | 4 | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系の保全の重要性を理解している。生態サービスについて理解している。(知)</li> <li>・環境アセスメントに関心をもち、生態系の保全の重要性について考えようとしている。(主)</li> </ul>                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・単元テスト</li> </ul>              |
| 学年末考查                                                              |                   | 1 |   |   |   |                                                                                                                                                                    |                                                                                     |



## 令和6年度 教科年間計画

|    |      |     |    |                       |
|----|------|-----|----|-----------------------|
| 教科 | 理科   | 2年  | 使用 | 【教科書】 東京書籍 新編 物理基礎    |
| 科目 | 物理基礎 | 2単位 | 教材 | 【副教材】 東京書籍 新編 ニューサポート |

### 科目の目標

日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

### 【評価の観点】

| 評価の観点<br>(重点項目には○)     |                                                                                                   | 観点別学習状況の評価基準                                                                                         |                                                                                                   |            |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
|                        |                                                                                                   | A (十分満足できる)                                                                                          | B (おおむね満足できる)                                                                                     | C (努力を要する) |
| ①<br>知識・技能             | 物理の特徴について、物理の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 | 物理の特徴について、物理の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を十分に身に付けている。 | 物理の特徴について、物理の共通性と多様性の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 | 基準に達していない  |
| ②<br>思考力<br>判断力<br>表現力 | 物理の共通性と多様性について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。                                | 物理の共通性と多様性について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に深く探究している。                                 | 物理の共通性と多様性について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。                                | 基準に達していない  |
| ③<br>主体的に学習に取り組む態度     | 物理の共通性と多様性に関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。                                     | 物理の共通性と多様性に関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に深く探究しようとしている。                                      | 物理の共通性と多様性に関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。                                     | 基準に達していない  |

# 授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

| 単元名                                | 学習内容             | 時数 | 内容の評価の観点 |   |   | 学習のねらい及び評価規準                                                                                                                                                                                             | 評価方法                                                                                |
|------------------------------------|------------------|----|----------|---|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
|                                    |                  |    | 知        | 思 | 主 |                                                                                                                                                                                                          |                                                                                     |
| 1編 物体の運動とエネルギー<br>1章 運動の表し方        | 1節 運動の表し方        | 2  | ○        | ○ |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動している物体のようすを表す物理量のうち、時刻と時間の違い、位置や速さについて理解している。(知)</li> <li>・運動のようすを表す量を用いて、地図アプリ等に表示させた自分の位置や運動を相手に伝える方法を考え、表現している。(思)</li> </ul>                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・実験</li> <li>・単元テスト</li> </ul> |
|                                    | 2節 等速直線運動        | 2  | ○        | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストロボ写真から、その運動の特徴を考察し、グラフを用いて正確に表現している。(知)</li> <li>・等速直線運動のv-tグラフ、x-tグラフの特徴を理解している。(思)</li> </ul>                                                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・実験</li> <li>・単元テスト</li> </ul> |
|                                    | 3節 合成速度と相対速度     | 2  | ○        |   | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・動くものの上で動く物体の速度や動くものから見たほかの動いている物体の速度について理解している。(知)</li> <li>・身近なスポーツに見られる合成速度や相対速度について、自分の体験等を踏まえて考えようとしている。(主)</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・実験</li> <li>・単元テスト</li> </ul> |
|                                    | 4節 直線運動の加速度      | 3  | ○        | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・等加速度直線運動について、運動の特徴やグラフで表したときの特徴を理解している。(知)</li> <li>・斜面を下る物体の速度の変化を調べるための方法や分析のしかたを自分なりに考え、その考えに基づいて実験を実施している。(思)(主)</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・実験</li> <li>・単元テスト</li> </ul> |
|                                    | 5節 落体の運動         | 4  | ○        |   | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自由落下運動がどのような運動か理解し、その加速度について理解している。(知)</li> <li>・等加速度直線運動の式から、自由落下運動を表す式の導き方を理解し、表現している。(主)</li> </ul>                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・実験</li> <li>・単元テスト</li> </ul> |
| 1編 物体の運動とエネルギー<br>2章 さまざまな力とそれはたらき | 1節 力とつり合い        | 3  | ○        | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・力が物体にはたらくとき、物体の運動のようすが変わったり物体が変形したりすることを理解し、力の3要素と、2つの力が物体にはたらくときの力のつり合いの条件について理解している。(知)</li> <li>・力のつり合いの学習をもとに、斜面上に置かれている物体にはたらく力の存在を推察している。(思)(主)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・実験</li> <li>・単元テスト</li> </ul> |
|                                    | 2節 運動の法則         | 5  | ○        | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の3つの法則について基本的な原理を理解している。(知)</li> <li>・物体にはたらく力、物体に生じる加速度、物体の質量についての関係を定量的に調べるためにどのような実験を行えばよいか考え、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、表現している。(思)(主)</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・実験</li> <li>・単元テスト</li> </ul> |
|                                    | 3節 さまざまな運動とはたらく力 | 4  | ○        | ○ |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・物体の落下運動を運動方程式の身近な適用例として理解し、物体にはたらく重力の大きさを理解している。(知)</li> <li>・物体が空気中を落下する際に関係しそうな物理量を自分なりに考えたり、簡単な実験を通して科学的に表現したりしている。(思)</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーク</li> <li>・実験</li> <li>・単元テスト</li> </ul> |
| 前期期末考査                             |                  | 1  |          |   |   |                                                                                                                                                                                                          |                                                                                     |

| 単元名                                 | 学習内容                 | 時数 | 内容の評価の観点 |   |   | 学習のねらい及び評価規準                                                                                                                                                    | 評価方法                  |
|-------------------------------------|----------------------|----|----------|---|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
|                                     |                      |    | 知        | 思 | 主 |                                                                                                                                                                 |                       |
| 1編<br>物体の運動とエネルギー<br>3章<br>力学的エネルギー | 1節 エネルギーと仕事          | 2  | ○        |   |   | ・仕事とエネルギーの関係、仕事の原理について理解している。(知)                                                                                                                                | ・ワーク<br>・実験<br>・単元テスト |
|                                     | 2節 運動エネルギーと位置エネルギー   | 2  | ○        | ○ | ○ | ・運動エネルギーについて理解し、定量的に表すことができる。また、仕事と運動エネルギーの関係について理解している。(知)<br>・重力による位置エネルギーと弾性力による位置エネルギーについて理解し、定量的に表すことができる。(思)(主)                                           | ・ワーク<br>・実験<br>・単元テスト |
|                                     | 3節 力学的エネルギーの保存       | 2  | ○        | ○ |   | ・力学的エネルギー保存の法則と、力学的エネルギーが保存される条件について理解している。(知)<br>・運動エネルギーと位置エネルギーが同時に変化する運動について、それらの関係がどうなっているかを調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、表現している。(思)<br>・実験「マイコンを使った実験②」 | ・ワーク<br>・実験<br>・単元テスト |
|                                     | 4節 力学的エネルギーが保存されない場合 | 2  | ○        |   |   | ・力学的エネルギーが保存されない条件を理解している。また、熱などまで含めれば全てのエネルギーが保存されている(エネルギー保存の法則が成り立つ)ことを理解している。(知)                                                                            | ・ワーク<br>・実験<br>・単元テスト |
| 2編<br>さまざまな物理現象とエネルギー<br>1章<br>熱    | 1節 温度と熱              | 2  | ○        |   |   | ・熱と温度について、原子や分子の熱運動の観点から定性的に理解している。(知)<br>・熱がエネルギーであることを理解し、物質の三態と潜熱について理解している。(知)                                                                              | ・ワーク<br>・単元テスト        |
|                                     | 2節 熱の移動と保存           | 2  | ○        | ○ | ○ | ・高温の物体が失った熱量と低温の物体が受け取った熱量との関係(熱量の保存)について理解している。(知)<br>・物質の種類によって温度変化に必要な熱量が異なるか調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、表現している。(思)(主)                                   | ・ワーク<br>・実験<br>・単元テスト |
|                                     | 3節 熱と仕事              | 2  | ○        |   | ○ | ・内部エネルギーの変化と物体に加えた熱量、物体にした仕事との関係(熱力学第1法則)を理解している。(知)<br>・日常の経験から温度を上げる原因について自分なりに考え、表現しようとしている。(主)                                                              | ・ワーク<br>・実験<br>・単元テスト |
|                                     | 4節 熱効率と不可逆変化         | 3  | ○        | ○ | ○ | ・熱効率と可逆変化、不可逆変化について理解し、熱効率が1以上の熱機関が存在しないことを理解している。(思)                                                                                                           | ・ワーク<br>・実験<br>・単元テスト |

| 単元名                               | 学習内容        | 時数 | 内容の評価の観点 |   |   | 学習のねらい及び評価規準                                                                                                                                                                                      | 評価方法                                                                             |
|-----------------------------------|-------------|----|----------|---|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
|                                   |             |    | 知        | 思 | 主 |                                                                                                                                                                                                   |                                                                                  |
| 2編<br>さまざまな物理現象とエネルギー<br>2章<br>波  | 1節 波を表す     | 2  | ○        | ○ |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>波の速さ、周期、振動数、波長の関係を理解している。振動の方向の違いによる縦波や横波を理解し、縦波のグラフでの表し方を理解している。(知)</li> <li>P波やS波について考え、自分なりにそれらの相違点について考え、表現している。(思)</li> <li>実験「割り箸ウェブマシーン」</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ワーク</li> <li>実験</li> <li>単元テスト</li> </ul> |
|                                   | 2節 波の重ね合わせ  | 2  | ○        | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>波の独立性と波の重ね合わせの原理について理解している。(知)</li> <li>波が重なって定在波ができるようすを、作図を通して表現している。(思)(主)</li> </ul>                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ワーク</li> <li>実験</li> <li>単元テスト</li> </ul> |
|                                   | 3節 音の性質     | 2  | ○        |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>音の3要素、空気中での音の速さについて理解している。また、うなりの生じる理由や、1秒間あたりに生じるうなりの回数について理解している。(知)</li> <li>実験「うなりを見る」</li> </ul>                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>ワーク</li> <li>実験</li> <li>単元テスト</li> </ul> |
|                                   | 4節 弦の固有振動   | 3  | ○        | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>共鳴がどのようなときに起こるのか、固有振動数との関係を理解している。(知)</li> <li>固有振動の特徴を調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、表現している。(思)(主)</li> <li>実験「偏心モーターで固有振動」</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ワーク</li> <li>実験</li> <li>単元テスト</li> </ul> |
|                                   | 5節 気柱の固有振動  | 3  | ○        | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>気柱内に生じる定在波のようすを、開管、閉管それぞれの場合について理解している。(知)</li> <li>気柱内に定在波が生じると予測し、それを調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、表現している。(思)(主)</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>ワーク</li> <li>実験</li> <li>単元テスト</li> </ul> |
| 2編<br>さまざまな物理現象とエネルギー<br>3章<br>電気 | 1節 電流と電圧    | 2  | ○        |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>静電気や原子構造、電流の大きさの表し方や向き、電圧について理解している。(知)</li> </ul>                                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>ワーク</li> <li>単元テスト</li> </ul>             |
|                                   | 2節 電気抵抗     | 3  |          | ○ |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>オームの法則について理解している。(知)</li> <li>抵抗の形状と抵抗値の大きさにどのような関係があるか仮説を立て、それを調べるために実験を行い、得られた実験結果を科学的に分析、考察し、表現している。(思)(主)</li> </ul>                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>ワーク</li> <li>実験</li> <li>単元テスト</li> </ul> |
|                                   | 3節 抵抗の接続    | 3  | ○        | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>2つの抵抗を直列接続、もしくは並列接続したときの合成抵抗について理解している。(知)</li> </ul>                                                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>ワーク</li> <li>単元テスト</li> </ul>             |
|                                   | 4節 電気とエネルギー | 2  | ○        |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>電力と電力量、ジュール熱について理解している。(知)</li> </ul>                                                                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>ワーク</li> <li>単元テスト</li> </ul>             |
|                                   | 5節 直流と交流    | 2  | ○        | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>電磁誘導の法則を理解している。また、発電所では、発電機を回転させることで発電を行っていることを理解している。(知)</li> <li>電流を流した導線のまわりに起きる変化について考察し、表現している。(思)(主)</li> </ul>                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>ワーク</li> <li>実験</li> <li>単元テスト</li> </ul> |
|                                   | 6節 電磁波      | 2  | ○        |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>電磁波が同波数の違いによって分類され、それぞれの性質に合わせて身のまわりでさまざまに利用されていることを理解している。(知)</li> </ul>                                                                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ワーク</li> <li>単元テスト</li> </ul>             |
| 学年末考査                             |             | 1  |          |   |   |                                                                                                                                                                                                   |                                                                                  |
| 時数合計                              |             | 70 |          |   |   |                                                                                                                                                                                                   |                                                                                  |



# 令和6年度 遠隔授業配信シラバス(2年)

| 教科<br>科目<br>単位数 | 理科<br>科学と人間生活<br>2  | 受信校 | 北海道雄武高等学校 | 学科<br>学年(年次)<br>履修・実施 | 普通科<br>第2学年<br>選択・一斉 |
|-----------------|---------------------|-----|-----------|-----------------------|----------------------|
| 教科書<br>副教材      | 高等学校 科学と人間生活(第一学習社) |     |           |                       |                      |

## 1 目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
  - (2) 観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。
  - (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。
- (高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)より)

## 2 学習のポイント

- (1) 自然現象に興味をもち、その法則性について考えるようにしてください。
- (2) 学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけてください。
- (3) Google Classroomなどのツールを使って課題やレポートの提出、振り返りなどを行います。
- (4) プリントを配布する場合がありますので、各自で管理してください。

## 3 学習の評価

### (1) 評価の観点と規準

次の3つの観点に基づき内容のまとまりごとに評価を行い、学年末に5段階評定として総括します。

| ①知識・技能                                                                                 | ②思考・判断・表現                                                                     | ③主体的に学習に取り組む態度                                               |
|----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| 科学技術の発展の人間生活への貢献、身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身につけ、これからの科学技術と人間生活のあり方について理解する。 | 身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察、実験、調査などを行って得た結果について、科学的に思考し、判断する。そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。 | 身近な事物・現象に関心や探究心をもち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身につける。 |

### (2) 評価方法と観点の関連

|   | 評価方法\観点 | ①  | ②  | ③  | 主な対象            |
|---|---------|----|----|----|-----------------|
| ア | 学習活動の観察 | ○  |    | ○  | 授業内の活動および発表     |
| イ | 実験操作    | ○  | ○  | ○  | 実験時の取り組み        |
| ウ | レポート    |    | ○  | ○  | 実験レポート・考察課題の内容  |
| エ | テスト     | ○  | ○  | ○  | 小テスト・単元テスト・定期考査 |
|   | 割合(%)   | 30 | 40 | 30 |                 |

## 4 その他

### <遠隔授業について>

- (1) 授業者は対面授業時を除き、基本的に配信校から授業をします。授業中の質問や疑問等については随時対応しますが、申し出にくい場合などについては、教室にいる受信担当の先生に申し出て構いません。
- (2) 音声や画面の不具合などがある場合には授業中でも遠慮なく教えてください。
- (3) Google Classroom を用いて課題提出や振り返り、資料配布などを行います。毎時間、端末を用意してください。

### <学習の支援について>

授業について、不安なことや気になること、配慮して欲しいことなどがあれば、可能な範囲で個別対応します。直接相談しにくい場合は、Classroom やワークシートに書いてもらっても構いません。

## 5 年間授業計画(計70時間)

| 月            | ○単元<br>●主な教材 | 配<br>当<br>(時) | 【学習領域】<br>・主な学習内容 | 目標・ねらい                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 観点ごとの<br>主な評価の対象<br>①知識・技能<br>②思考・判断・表現<br>③主体的に学習に取り組む態度                                     |
|--------------|--------------|---------------|-------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4            | オリエンテーション    | 1             |                   | ・遠隔授業の雰囲気をつくり、これからの学習の指針を立てる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                                                                                               |
|              | 序章 科学技術の発展   | 5             | 1. 情報伝達技術の発展      | (1) グーテンベルクの活版印刷機の改良から大量印刷が可能になり、その結果、情報の伝達速度が飛躍的に速まったことを理解している。<br>(2) 電気の実用化から電話が発達し、電磁波の発見から無線通信、ラジオやテレビ放送へと発達してきた過程を理解している。<br>(3) コンピュータによる情報処理技術の発展からインターネット、携帯電話の普及、AI や IoT の時代までの展開について、関心をもって学習している。                                                                                                                                                                                                                                                                                       | ①定期考査の結果<br>(単元テストの結果)<br>②ワークシートの記述<br>成果物<br>定期考査の結果<br>(単元テストの結果)<br>③学習活動の取組<br>ワークシートの取組 |
| 5<br>6<br>7  | 第Ⅰ章 物質の科学    | 18            | 第1節 材料とその利用       | (1) わたしたちの身のまわりにあるプラスチックの特徴と、プラスチックの原料について、概ね理解している。<br>(2) プラスチックやその原料となる物質は、おもに炭素原子と水素原子からなる有機物であることの知識を身につけている。<br>(3) プラスチックの性質と用途について、実験・観察などを通して科学的に思考できる。<br>(4) 熱に対する性質を調べることによって、プラスチックを熱可塑性樹脂と熱硬化性樹脂に分類することができる。<br>(5) 高吸水性樹脂、導電性樹脂、光透過性樹脂、生分解性プラスチックなどの新しいプラスチックの性質や用途について理解している。<br>(6) 金属の利用の歴史から、金属結合とそれにもとづく金属の性質について認識している。<br>(7) 鉄について、その性質や製錬方法、利用法などについて理解している。<br>(8) アルミニウムと銅について、その性質や製錬方法、利用法などを、実験・観察を通して科学的に理解している。<br>(9) 資源の再利用方法に関心を抱き、特にプラスチックがどのように再利用されているかを理解している。 | ①定期考査の結果<br>(単元テストの結果)<br>②ワークシートの記述<br>成果物<br>定期考査の結果<br>(単元テストの結果)<br>③学習活動の取組<br>ワークシートの取組 |
| 8<br>9<br>10 | 第Ⅱ章 生命の科学    | 18            | 第1節 ヒトの生命現象       | (1) タンパク質の構造やはたらきについて、理解している。<br>(2) 遺伝子によって決められているヒトの形質に興味を抱き DNA の構造や特徴、塩基配列の重要性を理解している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ①定期考査の結果<br>(単元テストの結果)<br>②ワークシートの記述<br>成果物<br>定期考査の結果<br>(単元テストの結果)                          |

|             |              |    |               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                   |
|-------------|--------------|----|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|             |              |    |               | <p>(3) DNAの塩基配列が、タンパク質のアミノ酸配列に置き換えられるしくみについて関心をもち、転写・翻訳の流れを理解している。</p> <p>(4) 内部環境の維持の重要性について理解し、血糖濃度の調節のしくみに関する知識を習得している。</p> <p>(5) 身近な病気である糖尿病について関心をもち、糖尿病の原因、治療法、注意点などを理解している。</p> <p>(6) 生体防御のうち、物理的・化学的な防御と、白血球による食作用のしくみについて理解している。</p> <p>(7) 抗体産生による生体防御のしくみ、および二次応答を利用した予防接種のしくみ、さらにアレルギーについて理解し、知識を身につけている。</p> <p>(8) ヒトの感覚について興味をもち、ヒトの眼の構造を学習し、視細胞の種類やはたらきについての確に表現できる。</p> <p>(9) 日常生活での視覚体験に関心を抱き、錯視の体験を通じて、視覚の成立や錯覚について、科学的に理解している。</p> | <p>③学習活動の取組<br/>ワークシートの取組</p>                                                                                     |
| 11<br>12    | 第Ⅲ章 熱や光の科学   | 14 | 第1節 熱の性質とその利用 | <p>(1) セルシウス温度や絶対温度について理解し、熱運動についての知識を身につけている。</p> <p>(2) 熱平衡の現象と、物体の熱容量と比熱について、実験を通して科学的に理解している。</p> <p>(3) 熱伝導、対流、熱放射などのしくみについて、実験などを通して理解している。また、水の状態変化と潜熱の概念について知識を習得している。</p> <p>(4) 仕事とエネルギーと関係、ジュール熱と電力の関係について、物理式を用いながら理解している。</p> <p>(5) さまざまなエネルギーの形態やエネルギー保存の法則について、関心をもちて学習している。</p> <p>(6) ハイブリッドカーの開発などの省エネルギーの試みや、太陽光や風力、地熱などの代替エネルギーの開発について、関心をもちて知識を習得している。</p>                                                                          | <p>①定期考査の結果<br/>(単元テストの結果)</p> <p>②ワークシートの記述<br/>成果物<br/>定期考査の結果<br/>(単元テストの結果)</p> <p>③学習活動の取組<br/>ワークシートの取組</p> |
| 1<br>2<br>3 | 第Ⅳ章 地球や宇宙の科学 | 14 | 第1節 自然景観と自然災害 | <p>(1) 身のまわりにある景観に関心をもち、日本列島の特徴とその成因、日本列島付近のプレートの動きについて科学的に理解している。</p> <p>(2) 日本列島の火山に興味を抱き、火山の噴火によって噴き出す噴出物、火山の噴火がおこる原因、火山の形とマグマの関連性、および日本の火山活動について、論理的に思考できる。</p> <p>(3) 火山の災害と防災について意欲的に学習する態度を示し、火山の噴火によって直接およびぼされる被害や二</p>                                                                                                                                                                                                                           | <p>①定期考査の結果<br/>(単元テストの結果)</p> <p>②ワークシートの記述<br/>成果物<br/>定期考査の結果<br/>(単元テストの結果)</p> <p>③学習活動の取組<br/>ワークシートの取組</p> |

令和6年度 遠隔授業配信シラバス（2年）

|  |  |  |  |                                                                                                                                                                                                          |  |
|--|--|--|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
|  |  |  |  | <p>次災害、火山噴火の予知と防災について、科学的・論理的に理解し、的確に表現できる。</p> <p>(4) 日本の地震に関心をもち、地震の発生のしくみや、日本列島の地震活動とプレートとの関連性について、科学的に理解している。</p> <p>(5) 地震災害と防災について、意欲的に学習する態度を示し、地震が直接及ぼす被害や地震による二次災害、地震の予知と防災について、科学的に理解している。</p> |  |
|--|--|--|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|

## 令和6年度 教科年間計画

|    |      |     |    |                   |
|----|------|-----|----|-------------------|
| 教科 | 保健体育 | 2年  | 使用 | 【教科書】 現代高等保健体育    |
| 科目 | 体育   | 2単位 | 教材 | 【副教材】 現代高等保健体育ノート |

### 科目の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

### 【評価の観点】授業計画

(評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

| 評価の観点<br>(重点項目には) |                                                              | 観点別学習状況の評価基準                                                       |                                                                        |                    |
|-------------------|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|--------------------|
|                   |                                                              | A (十分満足できる)                                                        | B (おおむね満足できる)                                                          | C (努力を要する)         |
| 知識・技能             | 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。         | 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けることができた。         | 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全についておおむね理解するとともに、技能を身に付けることができた。         | 左記の求められる基準に達していない。 |
| 思考力<br>判断力<br>表現力 | 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 | 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができた。 | 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力をおおむね養うことができた。 | 左記の求められる基準に達していない。 |
| ③主体的に学習に取り組む態度    | 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。 | 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができた。 | 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度をおおむね養うことができた。 | 左記の求められる基準に達していない。 |

| 月 | 学習内容                              | 時数 | 内容の評価の観点 |   |   | 学習のねらい及び評価規準                                                                                                                 | 評価方法 |
|---|-----------------------------------|----|----------|---|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
|   |                                   |    | 知        | 思 | 主 |                                                                                                                              |      |
| 4 | 体づくり運動<br>(体ほぐしの運動)<br>(体力を高める運動) | 5  |          |   |   | ○集団行動や準備運動(ランニング・体操・ストレッチング)の意義を理解し意欲的に取り組んでいるか。(主)                                                                          |      |
|   | 体育理論①                             | 1  | ○        | ○ | ○ | ○新体力テストを実施し、自分の体力的課題を認識し、解決に向けた具体的な方法を身につけられたか。(思)<br>○スポーツの歴史的発展と変容<br>・スポーツの歴史について理解出来ているか。(知)                             |      |
| 5 | 器械運動<br>(マット・跳び箱)運動               | 6  | ○        |   | ○ | ○技(前転、開脚前転、伸膝前転、後転、開脚後転、伸膝後転、倒立など)をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。(知)<br>○自分の動きを分析し、自身で課題解決に向けていく能力を高めることができたか。(主)              |      |
|   | ダンス                               |    |          |   |   | ○表したいテーマにふさわしいイメージをとらえ、個や班で、対極の動きや空間の使い方を変化をつけて即興的に表現しながら踊ることができているか。(知)<br>○グループや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫することができているか。(思) |      |
| 6 |                                   | 9  | ○        | ○ |   |                                                                                                                              |      |

|    |                            |     |   |   |   |                                                                                                                                                                                                              |
|----|----------------------------|-----|---|---|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7  | 陸上競技<br>(走り幅跳び、ハードル、走り高跳び) | 4   | ○ |   | ○ | ○必要な個人技術を高めることができたか。(知)<br>○自身の体力や技術的課題に応じた目標を設定し、実行・評価を繰り返す中で解決しようとする能力を高められたか。<br>(主)                                                                                                                      |
| 8  | 球技 (バレーボール)                | 6   | ○ | ○ |   | ・個人技術 (サービス、パスとレシーブ、トス、スパイク、ブロック等) をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。(思・主)                                                                                                                                        |
| 9  | ソフトボール                     | 7   | ○ | ○ |   | ・個人技術 (キャッチボール、バッティング等) の能力をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。(知)<br>・ソフトボールのルールを理解した上で、身につけた技能を活用し、状況に応じたゲームができるように工夫することができたか。(思)                                                                                |
| 10 | 体育理論②                      | 1   | ○ |   |   | ・スポーツの技術、戦術、ルールの変化、スポーツの技術、戦術、ルールは用具の改良やメディアの発達に伴い変わること理解できたか。(知)                                                                                                                                            |
| 11 | 武道 (柔道)                    | 9   | ○ | ○ |   | ・基本動作 (姿勢と組み方、進退動作、崩しと体さばき、受け身など) や投げ技 (膝車、体落とし、大腰、内股、大外刈りなど) 固め技 (袈裟固め、横四方固め、上四方固めなど) を身につけ、それらの技能を高めることができたか。(知)<br>・身につけた技能を活用し、自分の特性を踏まえた上で、相手の安全を第一に考えながら約束練習ができるようになったか。(主)                            |
|    | 体育理論③                      | 1   | ○ |   |   | ・オリンピックムーブメントとドーピング<br>オリンピックムーブメントによる国際親善や世界平和への役割を理解することや、ドーピングによるスポーツの文化的価値の喪失について理解することができたか。(知)                                                                                                         |
| 12 | 球技 (バスケットボール)              | 7   | ○ |   | ○ | ・個人技術 (パス、ドリブル、シュート、フェイント、リバウンド等) をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。また集団技術 (速攻、マンツーマンディフェンス) をしっかりと理解し、それらの技能を高めることができたか。(知)<br>・身につけた技能を活用し、自己の課題の解決に向けて工夫したり、チーム内における自分の役割を果たせるように努めながらゲームに取り組む姿勢を持つことができたか。(主) |
| 1  | 軽スポーツ<br>(バドミントン)          | 7   | ○ |   | ○ | ・個人技術 (ハイクリア、ドロップ・スマッシュ・ヘアピン等) 等の技術をしっかりと身につけ、それらの技能を高めることができたか。(知)<br>・身につけた技能を活用し、自己の課題の解決に向けて工夫したり、ペアにおける自分の役割を果たせるように努めながらゲームに取り組む姿勢を持つことができたか。(主)                                                       |
|    | 体育理論④                      | 1   | ○ |   |   | ・スポーツの経済的効果とスポーツ産業<br>現代のスポーツにおける経済的な波及効果やスポーツ産業について理解を深めることができたか。(思)                                                                                                                                        |
|    | 後期末考査                      | 1   |   |   |   |                                                                                                                                                                                                              |
| 2  |                            |     |   |   |   |                                                                                                                                                                                                              |
| 3  | バレーボールリーグ戦                 | 5   |   | ○ | ○ | ○身につけた技能を活用し、チーム内における自己の役割を果たせるよう努めながらゲームができるようになったか。(思・主)                                                                                                                                                   |
|    | 時数合計                       | 105 |   |   |   |                                                                                                                                                                                                              |

# 令和6年度 教科年間計画

|    |      |     |    |                   |
|----|------|-----|----|-------------------|
| 教科 | 保健体育 | 2年  | 使用 | 【教科書】 現代高等保健体育    |
| 科目 | 保健   | 1単位 | 教材 | 【副教材】 現代高等保健体育ノート |

## 科目の目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

## 【評価の観点】

| 評価の観点<br>(重点項目には)      |                                                                        | 観点別学習状況の評価基準                                                          |                                                                           |                    |
|------------------------|------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|--------------------|
|                        |                                                                        | A (十分満足できる)                                                           | B (おおむね満足できる)                                                             | C (努力を要する)         |
| ①知識・技能                 | 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるか。                             | 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付ける。                             | 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、おおむね技能を身に付ける。                             | 左記の求められる基準に達していない。 |
| ②思考力<br>判断力<br>表現力     | 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養っているか。 | 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養っている。 | 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力をおおむね養っている。 | 左記の求められる基準に達していない。 |
| ③主体的に<br>学習に取り組む<br>態度 | 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養っているか。             | 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養っている。             | 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度をおおむね養っている。             | 左記の求められる基準に達していない。 |

授業計画 (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

| 単元名          | 学習内容          | 時数 | 内容の評価の観点 |   |   | 学習のねらい及び評価規準                                                                            | 評価方法  |
|--------------|---------------|----|----------|---|---|-----------------------------------------------------------------------------------------|-------|
|              |               |    | 知        | 思 | 主 |                                                                                         |       |
| 生涯を通<br>じる健康 | 1 ライフステージと健康  | 2  | ○        |   |   | 生涯に通じる健康について、課題を発見し、労働と健康の関係や、働く人々の健康が保持増進されるしくみなどについて解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 | 小テスト  |
|              | 2 思春期と健康      | 1  | ○        |   |   |                                                                                         | 小テスト  |
|              | 3 性意識と性行動の選択  | 1  | ○        |   |   |                                                                                         | 小テスト  |
|              | 4 妊娠・出産と健康    | 2  | ○        |   |   | (ア) 各ライフステージで活用できる社会からの支援について理解し、例をあげて表現できる。                                            | 小テスト  |
|              | 5 避妊方法と人工妊娠中絶 | 1  | ○        |   |   |                                                                                         | 単元テスト |
|              | 6 結婚生活と健康     | 2  | ○        |   |   | (イ) 思春期の心の発達にかかわって起こる問題について理解し、例をあげて表現できる。                                              | 小テスト  |
|              | 7 中高年期と健康     | 2  | ○        |   |   |                                                                                         |       |

|             |                     |    |   |   |  |                                                                                                        |                      |
|-------------|---------------------|----|---|---|--|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
|             | 8 働くことと健康           | 2  | ○ |   |  | (ウ) 性情報が性行動の選択に及ぼす影響について理解し、表現することができる。                                                                | 小テスト                 |
|             | 9 労働災害と健康           | 2  |   | ○ |  |                                                                                                        | 小テスト                 |
|             | 10 健康的な職業生活         | 1  |   | ○ |  | (エ) 妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげることができる。                                                                  | 小テスト                 |
|             | 前期末考査               | 1  |   |   |  |                                                                                                        | 前期末考査                |
| 健康を支える環境づくり | 1 大気汚染と健康           | 1  |   | ○ |  |                                                                                                        | 小テスト                 |
|             | 2 水質汚濁、土壌汚染と健康      | 2  | ○ |   |  | (オ) 人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。                                                                          | 小テスト                 |
|             | 3 環境と健康にかかわる対策      | 1  | ○ |   |  | (カ) 働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。                                                                          | 小テスト                 |
|             | 4 ごみの処理と下水道の整備      | 2  |   | ○ |  | 健康を支える環境づくりについて、環境・食品と健康との関係を学ぶと同時に、社会全体の健康を高めるために、一人ひとりが環境づくりに積極的に参加する意義やその方法について着目して、それらを表現することができる。 | 小テスト                 |
|             | 5 食品の安全性            | 2  | ○ |   |  |                                                                                                        | 小テスト                 |
|             | 6 食品衛生にかかわる活動       | 1  | ○ |   |  |                                                                                                        | 小テスト                 |
|             | 7 保健サービスとその活用       | 2  | ○ | ○ |  | (7) 大気にかかわる地球環境の健康問題について例をあげて説明できる。                                                                    | 小テスト                 |
|             | 8 医療サービス            | 1  | ○ |   |  |                                                                                                        | 小テスト                 |
|             | 9 医薬品の制度とその活用       | 2  |   | ○ |  | (イ) 大気・水・土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できる。                                                              | 単元テスト<br>及び<br>学習ノート |
|             | 10 さまざまな保健活動や社会的対策  | 1  | ○ |   |  | (ウ) 食品の安全性に関する今日的な課題について説明できる。                                                                         |                      |
|             | 11 健康に関する環境づくりと社会参加 | 2  | ○ |   |  | (エ) 食品の安全性を確保するための個人的な役割について説明できる。                                                                     |                      |
|             |                     |    |   |   |  | (オ) 保健サービスの活用の例をあげることができる。                                                                             |                      |
|             |                     |    |   |   |  | (カ) 医薬品の安全性を守る取り組みについて説明できる。                                                                           |                      |
|             | 学年末考査               | 1  |   |   |  |                                                                                                        | 学年末考査                |
|             | 時数合計                | 35 |   |   |  |                                                                                                        |                      |

## 令和6年度 教科年間計画

|    |        |     |    |                     |
|----|--------|-----|----|---------------------|
| 教科 | 生涯スポーツ | 2年  | 使用 | 【教科書】 なし            |
| 科目 | 体育     | 2単位 | 教材 | 【副教材】 ステップアップ高校スポーツ |

### 科目の目標

- ①運動を合理的、計画的に実践しながら知識や技能を高め、自分の状況に応じて体力の向上を図る。  
 ②健康・安全に留意しながら、公正・協力・責任・参画など集団へのかかわり方を学ぶ。

### 【評価の観点】授業計画

(評価の観点の表し方 知：知識・技能・思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

| 評価の観点<br>(重点項目には) |                                                              | 観点別学習状況の評価基準                                                       |                                                                        |                    |
|-------------------|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|--------------------|
|                   |                                                              | A (十分満足できる)                                                        | B (おおむね満足できる)                                                          | C (努力を要する)         |
| 知識・技能             | 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。         | 各種運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けることができた。          | 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全についておおむね理解するとともに、技能を身に付けることができた。         | 左記の求められる基準に達していない。 |
| 思考力<br>判断力<br>表現力 | 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 | 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができた。 | 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力をおおむね養うことができた。 | 左記の求められる基準に達していない。 |
| ③主体的に学習に取り組む態度    | 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。 | 生涯にわたって継続して運動に親しむと共に健康の保持増進と体力の向上を目指し明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができた。   | 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度をおおむね養うことができた。 | 左記の求められる基準に達していない。 |

| 月                  | 学習内容                      | 時数      | 内容の評価の観点 |   |   | 学習のねらい及び評価規準                                                                                                                           | 評価方法 |
|--------------------|---------------------------|---------|----------|---|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
|                    |                           |         | 知        | 思 | 主 |                                                                                                                                        |      |
| 4<br>5<br>6<br>7   | オリエンテーション<br>陸上競技・卓球      | 1<br>22 | ○        | ○ | ○ | (ア) ランニング・体操・ストレッチの効果を実感し、意欲的に取り組んでいる<br>(イ) 体力を高める運動について理解し、自分の課題を見つけながら、運動に取り組んでいる。<br>(ウ) 生涯にわたるスポーツライフの実現に向け、仲間と協力しながら、課題に取り組んでいる。 |      |
| 8<br>9<br>10       | 陸上競技・卓球<br>体力を高める運動       | 12<br>8 | ○        |   | ○ | (ア) ウェイトトレーニングの実践法について理解し、課題を見つけることができる<br>(イ) 自己の体力に合わせて取り組むことができる。                                                                   |      |
| 11<br>12<br>1<br>2 | キンボール<br>バドミントン<br>バレーボール | 27      | ○        | ○ |   | (ア) ニュースポーツの楽しさや喜びを味わいながら課題に取り組むことができる。<br>(イ) 準備や後片付けなど自分の責任を果たそうと努力している。<br>(ウ) ゲームを展開するための技能が身についている。                               |      |
|                    | 時数合計                      | 70      |          |   |   |                                                                                                                                        |      |

## 令和6年度 教科年間計画

|    |     |     |    |                     |
|----|-----|-----|----|---------------------|
| 教科 | 芸術  | 2年  | 使用 | 【教科書】Tutti+ 音楽Ⅱ     |
| 科目 | 音楽Ⅱ | 2単位 | 教材 | 【副教材】高校生のための音楽研究ノート |

### 科目の目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

### 【評価の観点】

| 評価の観点<br>(重点項目には○) |                                                                                                  | 観点別学習状況の評価基準                                                                                    |                                                    |                    |
|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|--------------------|
|                    |                                                                                                  | A (十分満足できる)                                                                                     | B (おおむね満足できる)                                      | C (努力を要する)         |
| ①知識・技能             | 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けているか。               | 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。               | 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めることができる。 | 左側の求められる基準に達していない。 |
| ②思考力<br>判断力<br>表現力 | 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。                                         | 個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができる。                                             | 個性豊かに音楽表現を創意工夫することができる。                            | 左側の求められる基準に達していない。 |
| ③主体的に学習に取り組む態度     | 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができるか。 | 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度が養われている。 | 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むことができる。    | 左側の求められる基準に達していない。 |

**授業計画** (評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度)

| 単元名          | 学習内容<br>○歌唱教材 □器楽教材<br>◇創作教材 ◎鑑賞教材<br>◆知識理解教材                                                                                          | 時<br>数 | 内容の評価の観点 |   |   | 学習のねらい及び評価規準                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 評価方法                       |
|--------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|----------|---|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
|              |                                                                                                                                        |        | 知        | 思 | 主 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                            |
| クラスの歌声を響かせよう | <b>【歌唱】</b><br>○校歌<br>○Pretender<br>○Tomorrow<br>○島唄 など<br>◆Review of Basics<br>①音の名前<br>◆声という大切な楽器<br>◆Review of Basics<br>②音楽の速さを表そう | 3      | ○        | ○ | ○ | ・様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。(知)<br>・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。(技)<br>・音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現をしている。(思)<br>・校歌やなじみのある J-POP の歌を、歌詞の内容やの二重唱や二部合唱、自分にとっての音楽の存在を再認識することや音楽を幅広く様々な視点から捉えようとするに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(主) | 学習状況の観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| 日本歌曲を歌おう     | <b>【歌唱】</b><br>四季の歌<br>○さくらさくら<br>○我は海の子<br>○里の秋<br>○たき火<br>◆音のスケッチ①音楽の要素を探ろう<br>◆作曲者年表<br>◆楽典(強弱、速度、発想記号)                             | 2      | ○        | ○ | ○ | ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。(知)<br>・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な曲にふさわしい発声、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。(技)<br>・音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。(思)<br>・日本語の抑揚や間、語感、歌詞が旋律の流れやフレーズにどのように表され、曲想を生み出しているかに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(主) | 学習状況の観察<br>ワークシート          |
| 英語でポップスを歌おう  | <b>【歌唱】</b><br>○Yesterday once more                                                                                                    | 2      | ○        | ○ | ○ | ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、それらの関わりによっ                                                                                                                                                                                                                                                  | 学習状況の観察<br>ワークシ            |

|                             |                                                                                         |   |   |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                            |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
|                             | <p>○Let it be</p> <p>◆Review Take me home, country roads</p> <p>◆□絵③ロックの歴史を変えたビートルズ</p> |   |   |   | <p>て生み出される表現上の効果について理解している。(知)</p> <p>・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な他者との調和を意識して歌う技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。(技)</p> <p>・音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。(思)</p> <p>・英語の言葉の特性や曲にふさわしい発声で表情豊かに歌うことに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(主)</p> | ート<br>演奏の聴取                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                            |
| アンサンブルを楽しもう①<br>ーリズムアンサンブルー | <p>【器楽】</p> <p>□クラッピングカルテット第2番</p> <p>(作曲：長谷部匡俊)</p>                                    | 4 | ○ | ○ | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <p>・様々な表現形態による器楽表現の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めている。(知)</p> <p>・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な他者との調和を意識して演奏する技能や、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、器楽で表している。(技)</p> <p>・リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。(思)</p> <p>・リズムアンサンブルを構成する声部の関わりの変化と曲想の変化との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。(主)</p> | 学習状況の観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| アンサンブルを楽しもう②<br>ー器楽合奏ー      | <p>【器楽】</p> <p>□The raiders march</p>                                                   | 4 | ○ | ○ | ○                                                                                                                                                                                                                                                                                              | <p>・曲想と音楽の構造との関わり、曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びそれらの関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解している。(知)</p> <p>・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法や身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴や表現上</p>                                                                                                                                        |                            |

|                           |                                                                          |   |   |   |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------|---|---|---|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
|                           |                                                                          |   |   |   |   | <p>の効果を生かして演奏する技能を身に付け、器楽で表している。(技)</p> <p>・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。(思)</p> <p>・個性豊かに器楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動をするに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。(主)</p>                                                                                                                                                            |                                |
| アンサンブルを楽しもう③<br>ートーンチャイムー | 【器楽】<br>□Deck the hall<br>with boughs of<br>holly ひいらぎかざろう               | 4 | ○ | ○ | ○ | <p>・曲想と音楽の構造との関わり、曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びそれらの関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解している。(知)</p> <p>・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、他者との調和を意識して演奏する技能や、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、器楽で表している。(技)</p> <p>・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに器楽表現を工夫している。(思)</p> <p>・リズムアンサンブルを構成する声部の関わりの変化と曲想の変化との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。(主)</p> | 学習状況<br>の観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| クラシック<br>ギターの演奏を楽しもう①     | 【器楽】<br>○Let it be (復習)<br>○「これはなんと素晴らしい響きだ…」によるギター・エチュード<br>○シューベルトの子守歌 | 4 | ○ | ○ | ○ | <p>・曲想と音楽の構造との関わり、曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びそれらの関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による器楽表現の固有性や多様性について理解している。(知)</p> <p>・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な曲にふさわしい奏法、身体を使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。(技)</p> <p>・音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受</p>                                                                                                                                          | 学習状況<br>の観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |

|                |                                                                                         |   |   |   |                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                            |
|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|---|---|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
|                |                                                                                         |   |   |   | <p>したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて考え、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。(思)</p> <p>・奏法を身に付け高めることや、個性豊かに器楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動をするに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。(主)</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                            |
| 混声合唱を美しく響かせよう① | <p>【歌唱】</p> <p>○学校祭の全校合唱曲</p>                                                           | 8 | ○ | ○ | ○                                                                                                                                                       | <p>・曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。(知)</p> <p>・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。(技)</p> <p>・音色、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。(思)</p> <p>・他者との調和を意識して歌うことや、曲想が作品の作られた背景や作曲者の思いによってもたらされていることを理解しながら個性豊かに歌唱表現を創意工夫することに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(主)</p> | 学習状況の観察<br>演奏の聴取           |
| 音楽をつくろう        | <p>【創作】</p> <p>◇音のスケッチ③音素材の特徴を生かして音楽をつくろう</p> <p>◇音のスケッチ④音階から音楽をつくろう</p> <p>◆楽典（音階）</p> | 4 | ○ | ○ | ○                                                                                                                                                       | <p>・音素材、音階の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めている。(知)</p> <p>・創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能や、旋律をつくったりつくった旋律に副次的な旋律や和音などをつけたりする技能を身に付け、創作で表している。(技)</p> <p>・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこ</p>                                                                                                                                                                  | 学習状況の観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |

|        |  |  |  |  |                                                                                                                       |  |
|--------|--|--|--|--|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
|        |  |  |  |  | ととの関わりについて考え、個性豊かに創作表現を工夫している。(思)<br>・音素材の特徴を表したいイメージとか変わらせて理解し、個性豊かに創作表現を工夫することに関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。(主) |  |
| 前期期末考査 |  |  |  |  |                                                                                                                       |  |

| 単元名       | 学習内容                           | 時数 | 内容の評価の観点 |   |   | 学習のねらい及び評価規準                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 評価方法                       |
|-----------|--------------------------------|----|----------|---|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
|           |                                |    | 知        | 思 | 主 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                            |
| 箏を弾こう     | 【器楽】<br>□さくらさくら（復習）<br>□笑点のテーマ | 3  | ○        | ○ | ○ | ・曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。(知)<br>・創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。(技)<br>・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。(思)<br>・和楽器の音色や奏法の特徴を感じ取ることや、音楽文化の固有性を考えることⅡ<br>関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。(主) | 学習状況の観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |
| コンサートを開こう | 【器楽】<br>□クリスマスコンサート            | 27 | ○        | ○ | ○ | ・音楽Ⅱの1年間の学習における表現や鑑賞の知識に関する諸事項について理解している。(知)<br>・音楽Ⅱの1年間の学習における技能に関する諸事項を身に付け、器楽で表している。<br>・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱などを知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに器楽表現を創意工夫している。(思)<br>・音楽学習のまとめとしてコンサートを企画実施することや、音楽Ⅱの1年間の学習を経て自分自身の音楽に対する考え方がどのように変容したかを考えることに                                        | 学習状況の観察<br>ワークシート<br>演奏の聴取 |

|                    |                      |    |   |   |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                  |
|--------------------|----------------------|----|---|---|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
|                    |                      |    |   |   |   | 関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(主)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                  |
| コンサート<br>を聴こう      | 【鑑賞】<br>◎3年生の卒業コンサート | 2  |   | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・音色、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。(思)</li> <li>・音楽学習のまとめとしてコンサートを企画実施することや、音楽Ⅱの1年間の学習を経て自分自身の音楽に対する考え方がどのように変容したかを考えることに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(主)</li> </ul>                                                                                                                      | ワークシート           |
| 混声合唱を<br>美しく響かせよう② | 【歌唱】<br>○卒業式の在校生合唱曲  | 3  | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。(知)</li> <li>・創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。(技)</li> <li>・音色、速度、旋律、テクスチャ、強弱を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。(思)</li> <li>・他者との調和を意識して歌うことや、曲想が作品の作られた背景や作曲者の思いによってもたらされていることを理解しながら個性豊かに歌唱表現を創意工夫することに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。(主)</li> </ul> | 学習状況の観察<br>演奏の聴取 |
| 時数合計               |                      | 70 |   |   |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                  |

## 令和6年度 教科年間計画

|    |              |     |          |                                                                                                             |
|----|--------------|-----|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教科 | 外国語          | 2年  | 使用<br>教材 | 【教科書】 All Aboard! English Communication II<br>(東京書籍)                                                        |
| 科目 | 英語コミュニケーションⅡ | 3単位 |          | 【副教材】<br>・ All Aboard! English Communication II WORKBOOK<br>(東京書籍)<br>・ 夢をかなえる英単語 新コメタン1 大学合格必須レベル<br>(アルク) |

### 科目の目標

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。</p> <p>(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p> <p>(高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)より)</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### 【評価の観点】

| 評価の観点<br>(重点項目には○)         |                                                                                                                         | 観点別学習状況の評価基準                                                                        |                                                                 |              |
|----------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|--------------|
|                            |                                                                                                                         | A(十分満足できる)                                                                          | B(おおむね満足できる)                                                    | C(努力を要する)    |
| ①知識・<br>技能                 | 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらについての知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用することができるか。        | 話し手や書き手の意図、情報などを正しく理解し、語彙・表現・文法を適切に使用している。                                          | 話し手や書き手の意図、情報などを概ね理解し、多少の誤りはあるが理解に支障の無い程度の語彙・表現・文法を使用している。      | 「B」を満たしていない。 |
| ②思考力<br>判断力<br>表現力         | コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができるか。 | 題材について関連する情報なども含めて考察し、自分の意見や気持ちなどを効果的に表現している。                                       | 題材について考察し、自分の意見や気持ちなどを表現している。                                   | 「B」を満たしていない。 |
| ③主体的に<br>学習に<br>取り組む<br>態度 | 英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。                                           | 話し手や書き手の意図、情報などを積極的に理解しようとしている。<br>題材について関連する情報なども含めて考察し、自分の意見や気持ちなどを積極的に伝えようとしている。 | 話し手や書き手の意図、情報などを理解しようとしている。<br>題材について考察し、自分の意見や気持ちなどを伝えようとしている。 | 「B」を満たしていない。 |

年間授業計画 (計 105 時間)

| 月                     | ○題材<br>●主な教材                              | 配<br>当<br>(時) | 主な学習内容<br>◇テスト等                   | 目標・ねらい                                                   | 観点ごとの<br>主な評価の対象<br>①知識・技能<br>②思考・判断・表現<br>③主体的に学習に取り組む態度 |
|-----------------------|-------------------------------------------|---------------|-----------------------------------|----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 4<br>/<br>5<br>/<br>6 | ○オリエンテーション                                | 1             | 英語コミュニケーションⅡの学習について               | アンケートへの回答を通し、これまでの英語の学習を振り返り、英語コミュニケーションⅡの学習についての見通しをもつ。 | ①ペーパーテスト等の結果<br>②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果<br>③授業態度等           |
|                       | ○今年やってみたいこと<br>●Pre-Lesson                | 3             | 自分のことについて話す活動                     | 今年やってみたいことについて、英語で述べることができる。                             |                                                           |
|                       | ○ブラーノ島<br>●Lesson 1                       | 7             | 関係代名詞: what                       | 海外で行ってみたい場所について、英語で述べることができる。                            |                                                           |
|                       | ○ホテルにチェックイン<br>●Let's Listen 1            | 3             | ホテルにチェックインするときに使われる文の形・意味         | ホテルにチェックインする場面における対話を聞き、対話の概要やよく使われる表現を理解し、質問に答える。       |                                                           |
|                       | ○病院で診察<br>●Communication 1                | 3             | 症状や気分を説明する仕方                      | 病院で診察を受ける場面においてよく使われる表現を用いて、英語で対話をする。                    |                                                           |
|                       | ○サムのリクエスト<br>●Lesson 2                    | 7             | 比較表現: more, the most              | 世代を超えて人気のある人物について、英語で述べるができる。                            |                                                           |
|                       | ○Feeling and Emotions<br>●Word Box 1      | 1             | 感覚や感情を表す単語や表現を用いた文の形・意味           | 感覚や感情を表す単語や表現を用いて、英文を作成する。                               |                                                           |
|                       | 前期中間単元テスト                                 | 1             | ◇ <u>考查</u>                       | 学習内容の定着状況を確認する。                                          |                                                           |
| 7<br>/<br>8           | ○ワイルドマンの世界<br>●Lesson 3                   | 6             | it の用法                            | 身近な行事について、英語で紹介することができる。                                 | ①ペーパーテスト等の結果<br>②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果<br>③授業態度等           |
|                       | ●文法のまとめ 1                                 | 3             | 関係代名詞/比較表現/it の用法                 | Lesson 1~3 で学習した文法に関する知識・技能の確実な習得を促す。                    |                                                           |
|                       | ○ハチドリのおしずく<br>●Lesson 4                   | 7             | 間接疑問文                             | 自分の好きな物語を英語で紹介することができる。                                  |                                                           |
|                       | ○世界自然遺産<br>●Let's Listen 2                | 3             | ある地域の特徴や位置を説明する文の形・意味             | 日本にある世界自然遺産についての話を聞き、概要を理解して、その地域を選び、ヒントになった英語を書く。       |                                                           |
|                       | ○ずっと…し続けています<br>●Extra Target 1           | 1             | 現在完了進行形:<br>(have+been+動詞の-ing 形) | 「ずっと…し続けています」という文を考えて言う。                                 |                                                           |
|                       | ○OA Day in English: Part 1<br>●Word Box 2 | 1             | 平日の生活でよく使われる語句や表現を用いた文の形・意味       | 登校する日の出来事について、英語で表現して発表する。                               |                                                           |
|                       | ○歌舞伎メイクの物語<br>●Lesson 5                   | 7             | to 不定詞を含む表現                       | 日本の伝統文化について、英語で説明することができる。                               |                                                           |
|                       | 前期期末考查                                    | 1             | ◇ <u>考查</u>                       | 学習内容の定着状況を確認する。                                          |                                                           |

| 月                       | ○題材<br>●主な教材                                    | 配<br>当<br>(時) | 主な学習内容<br>◇テスト等                  | 目標・ねらい                                           | 観点ごとの<br>主な評価の対象<br>①知識・技能<br>②思考・判断・表現<br>③主体的に学習に取り組む態度 |
|-------------------------|-------------------------------------------------|---------------|----------------------------------|--------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 9<br>/<br>10<br>/<br>11 | ○Hokkaido Study Abroad Program                  | 1             | 〔やり取り/聞く〕<br>・必要な情報を聞き、それを整理する活動 | ・留学生が語る母国や家族などについての説明を聞き、概要を理解することができる。          | ①ペーパーテスト等の結果<br>②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果<br>③授業態度等           |
|                         | ○The Body and Clothes<br>●Word Box 3            | 1             | 服装についての対話でよく使われる語句や表現を用いた文の形・意味  | 身体の各部分や衣服・アクセサリなどを表す語句を用いて、ふだん着ているものについて英語で対話する。 |                                                           |
|                         | ○Mujina<br>●Reading 1                           | 7             | 江戸時代を舞台にした怪談を読み、情景や登場人物の心情を読み取る。 | 情景や登場人物の心情を想像しながら、怪談を題材にした物語を暗唱する。               |                                                           |
|                         | ●文法のまとめ2                                        | 3             | 間接疑問文/to不定詞を含む表現/動詞の形と「時」の関係     | Lesson 4～5で学習した文法に関する知識・技能の確実な習得を促す。             |                                                           |
|                         | ○伝統野菜を未来につなぐ<br>●Lesson 6                       | 8             | 動詞の目的語になるif節                     | 地元で有名な場所やものについて、英語で説明することができる。                   |                                                           |
|                         | ○Various Jobs<br>●Word Box 4                    | 1             | 仕事や職業を表すのによく使われる語句や表現を用いた文の形・意味  | 仕事や職業を表すのによく使われる語句や表現を用いて、将来つきたい職業とその理由を述べる。     |                                                           |
|                         | 後期中間単元テスト                                       | 1             | ◇ <u>考査</u>                      | 学習内容の定着状況を確認する。                                  |                                                           |
| 12<br>/<br>1<br>/<br>2  | ○アートで世界をつなぐ<br>●Lesson 7                        | 8             | 関係副詞：where, when                 | 世界の人々と交流する方法について、英語で述べることができる。                   | ①ペーパーテスト等の結果<br>②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果<br>③授業態度等           |
|                         | ○入国審査<br>●Communication 2                       | 3             | 旅行の目的や滞在日数などを申告する仕方              | 海外旅行先の空港での入国審査においてよく使われる表現を用いて、英語で対話をする。         |                                                           |
|                         | ○ロンドンの地下鉄<br>●Getting the Necessary Information | 3             | 地下鉄の路線図を見ながら説明する仕方               | ロンドンの地下鉄の路線図を見て、必要な情報を的確に読み取り、目的地への行き方を案内する。     |                                                           |
|                         | ○自然のデザインに学ぶ<br>●Lesson 8                        | 8             | 知覚動詞                             | 自然界のデザインをヒントにした製品について、英語で発表できる。                  |                                                           |
|                         | 学年末考査                                           | 1             | ◇ <u>考査</u>                      | 学習内容の定着状況を確認する。                                  |                                                           |
| 3                       | ●文法のまとめ3                                        | 3             | 動詞の目的語になるif節/関係副詞/知覚動詞           | Lesson 6～8で学習した文法に関する知識・技能の確実な習得を促す。             | ①ペーパーテスト等の結果<br>②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果<br>③授業態度等           |
|                         | ○1年間のまとめ                                        | 2             | 学習した表現や文法の復習                     | 1年間の学習内容を総合的に振り返り、知識・技能の定着をより確実なものにする。           |                                                           |

# 令和6年度 遠隔授業配信シラバス（2年）

| 教科<br>科目<br>単位数 | 外国語<br>論理・表現Ⅰ<br>2                                                                  | 受信校 | 北海道雄武高等学校 | 学科<br>学年（年次）<br>履修・実施 | 普通科<br>第二学年<br>選択・一斉 |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------|-----------------------|----------------------|
| 教科書<br>副教材      | 「MY WAY Logic and Expression I」（三省堂）<br>「MY WAY Logic and Expression I ワークブック」（三省堂） |     |           |                       |                      |

## 1 目標

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

（高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）より）

## 2 学習のポイント

- (1) オリエンテーション時に示す「授業のルール」を守り、積極的に言語活動に取り組んでください。
- (2) この科目では、主に「話すこと」、「書くこと」に関わる学習を行います。ペアやグループの活動では、自分の意見を積極的に述べるなど、恥ずかしがることなくコミュニケーションを図る努力をしてください。
- (3) 特に「話すこと」については、テーマに応じて即興で話す活動だけでなく、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッションといった論理性を要する言語活動が多くなります。知識や表現の能力だけではなく、取り組みへの積極性も評価されますので、恥ずかしがらずにコミュニケーションを図る努力をしてください。

## 3 学習の評価

### (1) 評価の観点とその趣旨

次の3つの観点に基づいて内容や時間のまとまりごとに「A・B・C」の3段階で評価を行い、学年末に5段階評定へと総括します。

| ①知識・技能                                                                                                                             | ②思考・判断・表現                                                                                                          | ③主体的に学習に取り組む態度                                                               |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| ・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。<br>・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 | コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 | 英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |

### (2) 評価方法と観点との関連（◎＝特に関連の深いもの）

|        | 評価方法／観点      | ① | ② | ③ | 主な対象                |
|--------|--------------|---|---|---|---------------------|
| ア      | 学習活動の観察・振り返り | ○ | ○ | ◎ | 言語活動への取り組み・振り返りシート等 |
| イ      | ワークシート・テスト等  | ◎ | ◎ | ○ | 課題提出、小テスト、定期テスト等    |
| ウ      | パフォーマンステスト等  | ◎ | ◎ | ○ | パフォーマンステスト          |
| 総括時の比率 |              | 1 | 1 | 1 |                     |

## 4 その他

### <遠隔授業について>

- (1) 授業者は対面授業時を除き、基本的に配信校から授業をします。授業中の質問や疑問等については随時対応しますが、申し出にくい場合などについては、教室にいる受信担当の先生に申し出て構いません。
- (2) 授業者が現地にいない分、皆さんの積極的な活動がより一層重要になります。メリハリをもって活動したり、わからないところを互いに教え合ったりすることは特に重要です。ぜひ、一緒に授業を「作っていく」つもりで参加してください。
- (3) 遠隔授業のため、音声の遅れや乱れが予想されます。これらの不都合を常に意識して柔軟に対応してください。
- (4) 遠隔授業では、Google Classroomなどのクラウドサービスを活用します。利用におけるルールを遵守してください。
- (5) その他の遠隔授業の特性についてはオリエンテーション時に説明します。

令和6年度 遠隔授業配信シラバス(2年)

<学習の支援について>

授業について、不安なことや気になること、配慮して欲しいことなどがあれば、可能な範囲で個別対応します。直接相談しにくい場合は、Classroom やワークシートに書いてもらっても構いません。

5 年間授業計画(計70時間)

| 月                     | ○題材<br>●主な教材               | 配当<br>(時) | 【学習領域】<br>・主な学習内容<br>□対面授業<br>◇テスト等                                              | 目標・ねらい                                                  | 観点ごとの<br>主な評価の対象<br>①知識・技能<br>②思考・判断・表現<br>③主体的に学習に取り組む態度      |
|-----------------------|----------------------------|-----------|----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| 4<br>/<br>5<br>/<br>6 | ○オリエンテーション                 | 1         | ・論理・表現Ⅰの学習について                                                                   | ・アンケートへの回答を通し、これまでの英語の学習を振り返り、論理・表現Ⅰの学習についての見通しをもつ。     | ①ペーパーテスト等の結果<br>②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果<br>③自己評価(振り返りシートなどの記述内容) |
|                       | ○自己紹介で差をつけよう<br>●Lesson 1  | 6         | 【やり取り/発表】<br>・現在形<br>◇単元テスト                                                      | ・初対面のあいさつをすることができる。<br>・自己紹介のスピーチをすることができる。             |                                                                |
|                       | ○わくわくドキドキ学校生活<br>●Lesson 2 | 6         | 【やり取り/書く】<br>・過去形(be 動詞/一般動詞)<br>・現在進行形/過去進行形<br>◇単元テスト<br>□対面授業④<br>◇パフォーマンステスト | ・好きだった教科について会話をすることができる。<br>・現在進行形、過去進行形を使って表現することができる。 |                                                                |
|                       | ○アートの世界へ旅立とう<br>●Lesson 3  | 7         | 【やり取り/発表】<br>・未来表現<br>・基本時制(現在形/過去形/未来表現)のまとめ<br>◇単元テスト                          | ・週末の予定について会話をすることができる。<br>・好きな絵について発表することができる。          |                                                                |
| 7<br>/<br>8<br>/<br>9 | ○英語でグルメしてみよう<br>●Lesson 4  | 7         | 【やり取り/書く】<br>・現在完了形①(完了/経験)<br>・現在完了形②(継続)/現在完了進行形<br>◇単元テスト                     | ・料理をするときの会話をすることができる。<br>・日本の食文化を紹介するレポートを書くことができる。     | ①ペーパーテスト等の結果<br>②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果<br>③自己評価(振り返りシートなどの記述内容) |
|                       | ○伝えよう! 待ちの魅力<br>●Lesson 5  | 6         | 【やり取り/発表】<br>・助動詞(can/may/must/have to/should)<br>・受動態<br>◇単元テスト                 | ・道案内の会話をすることができる。<br>・地域の特徴やマスコットキャラクターについて発表することができる。  |                                                                |
|                       | 前期期末考査                     | 1         | ◇考査                                                                              | ・学習内容の定着状況を確認する。                                        |                                                                |
| 10<br>/<br>11         | ○驚きいっぱい世界旅行<br>●Lesson 6   | 6         | 【やり取り/書く】<br>・不定詞①(名詞的用法/形容詞的用法)<br>・不定詞②(副詞的用法/原形不定詞)<br>◇単元テスト                 | ・買い物の会話をすることができる。<br>・旅行先から友達へメールやチャットをすることができる。        | ①ペーパーテスト等の結果<br>②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果<br>③自己評価(振り返りシートなどの記述内容) |

令和6年度 遠隔授業配信シラバス(2年)

|                        |                              |   |                                                                                      |                                                             |                                                                |
|------------------------|------------------------------|---|--------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
|                        | ○はらはらドキドキスポーツ観戦<br>●Lesson 7 | 6 | 【やり取り・発表】<br>・動名詞<br>・分詞による後置修飾/分詞構文<br>◇単元テスト                                       | ・スポーツの試合について会話をすることができる。<br>・スポーツ選手の特徴を説明することができる。          |                                                                |
|                        | ○科学技術で世界は変わる!?<br>●Lesson 8  | 7 | 【やり取り・書く】<br>・比較①(比較級)<br>・比較②(最上級/同等比較)<br>◇単元テスト<br>□対面授業②<br>◇パフォーマンステスト          | ・紙の本と電子書籍のよさについて会話をすることができる。<br>・科学技術製品を紹介する記事の原稿を書くことができる。 |                                                                |
| 12<br>/<br>1<br>/<br>2 | ○元気が一番!<br>●Lesson 9         | 7 | 【やり取り・発表】<br>・関係代名詞①(who/which/that[主格・目的格])<br>・関係代名詞②(目的格の省略/whose/what)<br>◇単元テスト | ・病院での会話をすることができる。<br>・健康について発表をすることができる。                    | ①ペーパーテスト等の結果<br>②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果<br>③自己評価(振り返りシートなどの記述内容) |
|                        | ○世界を変えるのは私たち<br>●Lesson 10   | 7 | 【やり取り/書く】<br>・関係副詞<br>・仮定法<br>◇単元テスト                                                 | ・SDGsについて会話をすることができる。<br>・SDGsについての発表原稿を書くことができる。           |                                                                |
|                        | 学年末考査                        | 1 | ◇考査                                                                                  | ・学習内容の定着状況を確認する。                                            |                                                                |
| 3                      | ○友だちに感謝のメッセージを送ろう。           | 2 | 【書く】                                                                                 | ・1年間を振り返って友だちに感謝のメッセージを伝えることができる。                           |                                                                |

## 令和6年度 教科年間計画

|    |      |     |    |                    |
|----|------|-----|----|--------------------|
| 教科 | 家庭   | 2年  | 使用 | 【教科書】家庭基礎 自立・共生・創造 |
| 科目 | 家庭基礎 | 2単位 | 教材 |                    |

### 科目の目標

生活の営みに係わる見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。

### 【評価の観点】

| 評価の観点<br>(重点項目には○)     |                                                                                                           | 観点別学習状況の評価基準                                                                                              |                                                               |                    |
|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|--------------------|
|                        |                                                                                                           | A (十分満足できる)                                                                                               | B (おおむね満足できる)                                                 | C (努力を要する)         |
| ①知識・技能                 | 生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。                        | 生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。                        | 生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解している。 | 左側の求められる基準に達していない。 |
| ②思考力<br>判断力<br>表現力     | 生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。    | 生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。    | 生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想することができる。      | 左側の求められる基準に達していない。 |
| ③主体的に<br>学習に取り<br>組む態度 | 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 | 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善することができる。     | 左側の求められる基準に達していない。 |

**授業計画**（評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度）

| 単元名      | 学習内容         | 時数 | 内容の評価の観点 |   |   | 学習のねらい及び評価規準                                     | 評価方法      |
|----------|--------------|----|----------|---|---|--------------------------------------------------|-----------|
|          |              |    | 知        | 思 | 主 |                                                  |           |
| 生涯を見通す   | 人生を展望する      | 1  | ○        | ○ | ○ | ライフステージの特徴を理解し、課題を考える。                           | ワークシート    |
|          | 目標を持って生きる    | 2  |          | ○ | ○ | 生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し、歩みたい人生の目標を描く。             |           |
| 人生をつくる   | 人生をつくる       | 1  | ○        |   | ○ | 生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるように、さまざまな生き方について理解する。 | ワークシート    |
|          | 家族・家庭を見つめる   | 2  | ○        |   | ○ | 家族・家庭と私たちの生活の結び付きを理解する。                          |           |
|          | これからの家庭生活と社会 | 1  |          | ○ | ○ | 仕事と家庭の両立や家庭生活と地域の結びつきについて考える。                    |           |
| 衣生活をつくる  | 被服の役割を考える    | 1  | ○        | ○ | ○ | 私たちが被服を着用するに至った社会的・文化的背景と被服の多様な働きを理解し、まとめる。      | ワークシート    |
|          | 被服を入手する      | 1  | ○        |   |   | 健康・快適・安全な生活を送るために被服に施されている工夫について理解する。            | 実技テスト     |
|          | 被服を管理する      | 1  | ○        | ○ | ○ | 手持ちの被服を長期にわたり着用することができるよう、管理や手入れの工夫について理解する。     | 作品振り返りシート |
|          | 衣生活の文化と知恵    | 1  | ○        |   | ○ | 日本の衣生活の変遷や日本の衣文化に込められる知恵や技術について知る。               |           |
| 衣生活をつくる  | 衣服制作         | 8  | ○        |   | ○ | 制作に必要な用具の使い方を理解し、生活に必要な技術を身につける。                 | レポート      |
|          | これからの衣生活     | 1  |          | ○ | ○ | 資源の消費の視点で自分の衣生活を見直す。                             |           |
| 子どもと共に育つ | 命を育む         | 2  | ○        |   |   | 性と生殖に関する健康について理解する。                              | ワークシート    |
|          | 子どもの育つ力を知る   | 2  | ○        |   |   | 子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。                  | レポート      |
|          | 子どもと関わる      | 2  |          | ○ | ○ | 子どもが健康・快適・安全に育つ環境とはどのようなものか考える。                  |           |
|          | これからの保育環境    | 2  |          | ○ | ○ | 子どもが健やかに育つ社会をどのように実現すればよいか、考えて実践しようとする。          |           |

| 単元名            | 学習内容           | 時数 | 内容の評価の観点 |   |   | 学習のねらい及び評価規準                                            | 評価方法                                              |
|----------------|----------------|----|----------|---|---|---------------------------------------------------------|---------------------------------------------------|
|                |                |    | 知        | 思 | 主 |                                                         |                                                   |
| 超高齢社会を共に生きるために | 超高齢・大衆長寿社会の到来  | 1  | ○        |   |   | 超高齢社会の背景を理解する。                                          | ワークシート                                            |
|                | 高齢者の心身の特徴      | 2  |          | ○ | ○ | 高齢者が生きがいを持って生活するためには、家族や地域によるどのような支援が必要か、考える。           |                                                   |
|                | これからの超高齢社会     | 1  | ○        | ○ | ○ | 加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解を深める。                        |                                                   |
| 共に生き、共に支える     | 私たちの生活と福祉      | 1  |          | ○ | ○ | 高齢者の自立を支えるために私たちにできる適切な支援の方法や関わり方を考える。                  | ワークシート                                            |
|                | 社会保障の考え方       | 1  | ○        | ○ | ○ | 家族・家庭生活を支える福祉について理解する。                                  |                                                   |
|                | 共に生きる          | 1  | ○        |   |   | 国・地方公共団体の制度などの支援体制、支え合いの構造について理解する。                     |                                                   |
| 食生活をつくる        | 食生活の課題について考える  | 2  | ○        | ○ | ○ | 食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。                      | ワークシート<br><br>調理実習での取り組み<br><br>実技テスト<br><br>レポート |
|                | 食事の栄養・食品       | 2  | ○        |   | ○ | 栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的な理解を深める。                  |                                                   |
|                | 食生活の選択と安全      | 2  | ○        |   | ○ | 食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。  |                                                   |
|                | 生涯の健康を見通した食事計画 | 3  | ○        | ○ | ○ | 各ライフステージの食生活の特徴や課題を理解し、健康によい、栄養バランスのよい食事とはどのようなものかを考える。 |                                                   |
|                | 調理の基礎          | 8  | ○        | ○ | ○ | 食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につける。                               |                                                   |
|                | 食生活の文化と知恵      | 2  |          | ○ |   | 日本の食文化の特徴を理解し、継承していくためにはどうしたら良いか考える。                    |                                                   |
|                | これからの食生活       | 1  |          | ○ | ○ | 安全・環境・健康など食生活に関わる情報を適切に判断し、広い視野で食生活について考える。             |                                                   |

| 単元名          | 学習内容          | 時数 | 内容の評価の観点 |   |   | 学習のねらい及び評価規準                                                              | 評価方法           |
|--------------|---------------|----|----------|---|---|---------------------------------------------------------------------------|----------------|
|              |               |    | 知        | 思 | 主 |                                                                           |                |
| 住生活をつくる      | 住生活の変遷と住居の機能  | 2  |          | ○ |   | 住まいの役割や基本的な機能について考える。                                                     | レポート<br>ワークシート |
|              | 安全で快適な住生活の計画  | 2  | ○        |   |   | 自らの住生活に生かすことができるよう、防災、日照、換気などに関する環境性能について理解を深める。                          |                |
|              | 住生活の文化と知恵     | 1  | ○        |   |   | 気候や風土の違い、時代の変化によって、大きく異なる世界や日本のさまざまな住文化について理解する。                          |                |
|              | これからの住生活      | 1  |          | ○ | ○ | 持続可能な住居や、自助・互助・共助・公助に基づく地域コミュニティづくり、まちづくりの担い手になるために、環境に配慮した住生活について理解する。   |                |
| 経済生活を営む      | 情報の収集・比較と意志決定 | 1  | ○        |   |   | 現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。                                        | ワークシート         |
|              | 購入・支払いのルールと方法 | 2  |          | ○ | ○ | 具体的な買い物の場面を取り上げ、購入方法や支払い方法について考える。                                        |                |
|              | 消費者の権利と責任     | 2  | ○        |   |   | 実際の消費生活と結びつけ、消費者の権利や責任について理解する。                                           |                |
|              | 生涯の経済生活を見通す   | 1  | ○        |   |   | 経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について理解する。                                             |                |
|              | これからの経済生活     | 1  |          | ○ | ○ | どうすれば持続可能な経済成長が実現できるか考えて実践しようとする。                                         |                |
| 持続可能な生活を営む   | 持続可能な社会を目指して  | 1  | ○        | ○ | ○ | 持続可能な社会を構築するために、持続可能な消費や生活について理解し、ライフスタイルを工夫する。                           | ワークシート         |
| これからの生活を創造する | 生活をデザインする     | 1  | ○        | ○ | ○ | 人生の目標を達成し、自分らしい生活が実現できるよう、各ライフステージの課題や生活資源、リスク管理について振り返りながら生活設計ができるようになる。 | ワークシート         |
| 時数合計         |               | 70 |          |   |   |                                                                           |                |

# 令和6年度 教科年間計画

|    |    |     |          |                                           |
|----|----|-----|----------|-------------------------------------------|
| 教科 | 商業 | 2年  | 使用<br>教材 | 【教科書】 高校簿記（実教出版）                          |
| 科目 | 簿記 | 2単位 |          | スピードマスター精選簿記演習改訂版（実教出版）<br>商業学習準備ノート（英光社） |

## 科目の目標

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。
- (3) 企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

## 【評価の観点】

| 評価の観点<br>(重点項目には○)         |                                                                                                                              | 観点別学習状況の評価基準                                                                                                                             |                                                                                                                                              |                                                                                                                                                |
|----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                            |                                                                                                                              | A (十分満足できる)                                                                                                                              | B (おおむね満足できる)                                                                                                                                | C (努力を要する)                                                                                                                                     |
| ①知識・<br>技能                 | 資産・負債・純資産と貸借対照表、資産・負債・純資産の増減と純損益の計算について、その知識を身に付けている。<br>収益・費用と損益計算書、収益・費用の発生と純損益の計算について、その知識・技術を身に付けている。                    | 資産・負債・純資産の意味と貸借対照表の作成方法および収益・費用の意味と損益計算書の作成方法についてきちんと理解している。<br>資産・負債・純資産の増減と純損益の計算および収益・費用の発生と純損益の計算について具体的数値例に基づき体系的に理解している。           | 資産・負債・純資産の意味と貸借対照表の作成方法および収益・費用の意味と損益計算書の作成方法についておおむね理解している。<br>資産・負債・純資産の増減と純損益の計算および収益・費用の発生と純損益の計算についておおむね理解している。                         | 資産・負債・純資産の意味と貸借対照表の作成方法および収益・費用の意味と損益計算書の作成方法について理解していない。<br>資産・負債・純資産の増減と純損益の計算および収益・費用の発生と純損益の計算について理解していない。                                 |
| ②思考力<br>判断力<br>表現力         | 資産・負債・純資産と貸借対照表、資産・負債・純資産の増減と純損益の計算について、思考・判断し、それを表現する力を身に付けている。<br>収益・費用と損益計算書、収益・費用の発生と純損益の計算について、思考・判断し、それを表現する力を身に付けている。 | 資産・負債・純資産の意味と貸借対照表の作成方法および収益・費用の意味と損益計算書の作成方法について思考・判断してきちんと説明できる。<br>資産・負債・純資産の増減と純損益の計算および収益・費用の発生と純損益の計算について、自分の思考したことを数値を使って説明できる。   | 資産・負債・純資産の意味と貸借対照表の作成方法および収益・費用の意味と損益計算書の作成方法について思考・判断しておおむね説明できる。<br>資産・負債・純資産の増減と純損益の計算および収益・費用の発生と純損益の計算について、思考・判断し、それを表現する力をおおむね身に付けている。 | 資産・負債・純資産の意味と貸借対照表の作成方法および収益・費用の意味と損益計算書の作成方法について思考・判断したり、説明できない。<br>資産・負債・純資産の増減と純損益の計算および収益・費用の発生と純損益の計算について、思考・判断したり、それを表現したりする仕方を身に付けていない。 |
| ③主体的<br>に学習に<br>取り組む<br>態度 | 本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。                                                                                      | 資産・負債・純資産・収益・費用の意味について、自ら意欲的に取り組み理解しようとしている。<br>貸借対照表と損益計算書の作成方法や資産・負債・純資産の増減と純損益の計算および収益・費用の発生と純損益の計算の仕組みについて、多くの演習問題にあたるなど主体的に取り組んでいる。 | 資産・負債・純資産・収益・費用の意味について、理解しようとして取り組んでいる。<br>貸借対照表と損益計算書の作成方法や資産・負債・純資産の増減と純損益の計算および収益・費用の発生と純損益の計算の仕組みについて、理解しようとして取り組んでいる。                   | 資産・負債・純資産・収益・費用の意味について、理解しようとして取り組む態度がみられない。<br>貸借対照表と損益計算書の作成方法や資産・負債・純資産の増減と純損益の計算および収益・費用の発生と純損益の計算について、理解しようとして取り組む態度が見られない。               |

**授業計画**（評価の観点の表し方 知：知識・技能 思：思考力・判断力・表現力 主：主体的に学習に取り組む態度）

| 単元名          | 学習内容                                                          | 時数 | 内容の評価<br>の観点 |   |   | 学習のねらい及び評価規準                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 評価方法                  |
|--------------|---------------------------------------------------------------|----|--------------|---|---|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
|              |                                                               |    | 知            | 思 | 主 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                       |
| 簿記の基礎        | 企業の簿記<br>簿記の要素<br>取引と勘定<br>仕訳と転記<br>仕訳帳と総勘定元帳<br>試算表<br>決算    | 15 | ○            | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・簿記の要素と貸借対照表・損益計算書の構造や役割、簿記一巡の手続きなど、簿記の仕組みを理解したか。(知)</li> <li>・簿記の基礎概念として資産・負債・純資産・収益・費用は何かを思考し、それぞれの区分を適切に判断し、適切に表現できたか。(思)</li> <li>・簿記上の取引の意味、勘定記入法、仕訳の意味、仕訳帳と総勘定元帳、貸借対照表と損益計算書、精算表の作成法を理解しているか。(知)</li> <li>・勘定記入について適切に判断し、正確におこなえているか。(思)</li> <li>・仕訳帳と総勘定元帳、貸借対照表と損益計算書、精算表の作成を考え、適切に作成できたか。(思)</li> <li>・各種取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。(知)</li> <li>・各種取引に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。(思)</li> <li>・学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。(主)</li> </ul> | プリント<br>小テスト<br>単元テスト |
| 取引の記帳と決算Ⅰ    | 現金・預金の記帳<br>商品売上の記帳<br>掛け取引の記帳<br>固定資産の記帳<br>決算（その１）          | 10 | ○            | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。(知)</li> <li>・各種取引に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。(思)</li> <li>・決算の記録・計算・整理に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。(知)</li> <li>・決算整理を含んだ決算について、一定の方法に従って判断処理しているか。(思)</li> <li>・学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。(主)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                     | プリント<br>小テスト<br>単元テスト |
| 取引の記帳と決算Ⅱ    | 手形取引の記帳<br>その他の債権・債務の記帳<br>販売費及び一般管理費の記帳<br>資本金の記帳<br>決算（その２） | 10 | ○            | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・手形の取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。(知)</li> <li>・手形に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。(思)</li> <li>・決算の意味や決算整理の必要性を理解したか。(知)</li> <li>・各種取引に関する基本的な内容とその記帳法を理解して、基礎的な技術を身に付けたか。(知)</li> <li>・各種取引に関する記帳に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。(思)</li> <li>・貸し倒れの見積もり、間接法による減価償却の記帳、費用・収益の繰り延べと見越しをともし決算の手続きを理解したか。(知)</li> <li>・進んだ決算整理を含んだ決算について、一定の方法に従って判断処理しているか。(思)</li> <li>・学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。(主)</li> </ul>                         | プリント<br>小テスト<br>単元テスト |
| 帳簿・伝票と記帳の効率化 | 帳簿<br>仕訳伝票と３伝票制<br>会計ソフトウェア                                   | 5  | ○            | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで学んでいる諸帳簿の記帳法を理解しているか。(知)</li> <li>・入金取引・出金取引・その他の取引にどの伝票を用いるかの判断を通じて、記帳の合理化を考えることができるか。(知)</li> <li>・取引の記帳に会計ソフトウェアを活用することによる利点を理解したか。(知)</li> <li>・ビジネスの諸活動について、記帳にどの帳簿または伝票を用いてよいかの判断ができ、適切に表現できるか。(思)</li> <li>・仕訳帳との違いを含めて伝票の意味と伝票の起票、集計・転記を理解しているか。</li> <li>・会計ソフトウェアをどのように活用するかを判断を通じて、記帳の合理化を考えることができるか。(思)</li> <li>・学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。(主)</li> </ul>                                                                                                               | プリント<br>小テスト<br>単元テスト |
| 取引の記帳と決算Ⅲ    | 有価証券とその他の手形取引の記帳<br>決算（その３）                                   | 10 | ○            | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・有価証券の取引とその他の手形取引に関する基本的な内容とその記帳法および損益計算書と貸借対照表の作成法を理解したか。</li> <li>・有価証券とその他の手形取引に関する記帳および損益計算書と貸借対照表の作成法に自らの思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、表現する能力を身につけたか。</li> <li>・学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。(主)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                            | プリント<br>小テスト<br>単元テスト |

|         |                                        |    |   |   |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                       |
|---------|----------------------------------------|----|---|---|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 本支店の会計  | 支店の取引<br>本支店の財務諸表の合併                   | 10 | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本支店間の取引, 支店相互間の取引, 合併貸借対照表と合併損益計算書などに関する基本的な内容を理解して, 基礎的な技術を身に付けたか。(知)</li> <li>・本支店間の取引, 支店相互間の取引について, その記録・計算・整理(合併貸借対照表と合併損益計算書)に関する問題の解決を目指して, 自らの考えを深め, 基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し, 表現する能力を身に付けたか。(思)</li> <li>・学習にあたって, 自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。(主)</li> </ul> | プリント<br>小テスト<br>単元テスト |
| 株式会社の記帳 | 設立と開業の記帳<br>剰余金の処分に関する記帳<br>株式会社の税金の記帳 | 10 | ○ | ○ | ○ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社の記帳法について, 基本的な内容を理解して, 基礎的な技術を身に付けたか。(知)</li> <li>・株式会社の記帳法について, その記帳について自らの思考を深め, 適切に判断しているか。(思)</li> <li>・学習にあたって, 自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。(主)</li> </ul>                                                                                                    | プリント<br>小テスト<br>単元テスト |
| 時数合計    |                                        | 70 |   |   |   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                       |